小中学校の教育環境についてのアンケート調査

報　告　書

令和６年３月

豊田市教育委員会

目　次

第１章　調査の概要 …… 1

1　調査目的 …… 1
2　調査対象 …… 1
3　調査方法及び調査期間 …… 1
4　報告書の見方 …… 1
5　調査項目 …… 2
6　結果概要 …… 3

第２章　教育に期待することや満足度 …… 6

①　学校で伸ばしたい力 …… 6
②　１人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育 …… 7
③　１人ひとりの活躍や登場の機会 …… 8
④　集団の中で身に付けるコミュニケーション能力 …… 9
⑤　多様な意見や考えに触れる機会 …… 10
⑥　学校行事や部活動などの集団活動の教育機会 …… 11
⑦　クラスメイトと楽しく過ごしているか …… 12
⑧　人数が少ないことによる人間関係の困りごと …… 13
⑨　人数が少ない学校の「良い」と思う点 …… 14
⑩　人数が少ない学校の「良くない」と思う点 …… 15
⑪　特色ある教育の実施 …… 16

第３章　学校規模の満足感と適当な規模 …… 17

①　クラスの人数の満足感 …… 17
②　クラスの人数の希望 …… 18
③　クラスの人数の適当な人数 …… 21
④　クラスの人数の適当な人数（理由） …… 22
⑤　クラス数の満足感 …… 24
⑥　クラス数の希望 …… 25
⑦　クラス数の適当な数 …… 28
⑧　中学校に進学する（した）ときの不安 …… 29
⑨　クラス替えの必要性とその理由 …… 30

第４章　小規模校の対策…… 31

① 小規模校の対策の必要性…… 31
② 小規模校の対策が必要な理由 …… 34
③ 小規模校の対策の方法…… 35
④ 学校統合の条件（小学生、中学生）…… 36
⑤ 学校統合の条件（教員、小中保護者、園保護者） …… 37
⑥ 学校統合で重視すること…… 38
⑦ ワークショップや意見交換会への参加…… 39
⑧ 小学校の統合を検討するタイミング…… 40

第５章　回答者の属性 …… 41

1　全体…… 41
2　教員…… 43
3　保護者…… 43

資料編 …… 44

第１章 調査の概要

１　調査目的

今後、豊田市において児童生徒数の減少が想定されることに伴い、子どもたちの最適な教育環境を確保するため、「学校規模の適正化に関する基本方針（平成２０年３月策定）（以下、「基本方針」という。）」を改定する。基本方針改定に向けた検討を行うにあたり、小学生、中学生、教員、小中保護者、園保護者の意見を把握するため必要な事柄についてアンケート調査を行った。

２　調査対象

（１）対象地区　　旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡、石野、益富、松平中学校区※１

（２）調査対象、回収状況

調査対象	対象者数	回答者数	回収率
①　小学４～６年　（以下、「小学生」という）	1,284 人	1,173 人	91.4%
②　中学１～３年生　（以下、「中学生」という）	1,273 人	1,063 人	83.5%
③　教員	541 人	435 人	80.4%
④　小・中学校保護者※２　（以下、「小中保護者」という）	2,966 人	1,327 人	44.7%
⑤　こども園年長園児保護者　（以下、「園保護者」という）	400 人	245 人	61.3%

※１ 学校全体で６学級（特別支援学級を除く）以下の小学校が２校以上ある中学校区を対象とした。（令和５年５月時点）

※２ 子どもが複数いる場合は一番下の子どもについて回答を依頼。また小学校、中学校にそれぞれ子どもがいる場合は小学生の子どもについてのみ回答を依頼した。

３　調査方法及び調査期間

（１）調査方法　　調査に関する依頼文を学校及びこども園等を通じて配布し、ＷＥＢフォームにて回答を依頼。一部の園のみ、郵送での回答を受け付けた。

（２）調査期間　　令和５年１０月１１日～１１月７日

４　報告書の見方

○　基数となるべき実数（ｎ）は、設問に対する回答数を表す。

○　「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を示している。

○　集計は、小数点第２位を四捨五入している。そのため、数値の合計が 100%にならない場合がある。

○　回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。そのため、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると 100%を超えることがある。

○　各設問の集計は、無回答を除いて集計をしている。

○　同じ項目の設問であるが、対象によって設問文が異なるものについて、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。

○　クロス集計結果の表を掲載している設問がある。表については、項目ごとに上位１位に濃い網掛け、上位２位に薄い網掛けをしている。ただし、ｎが 10 未満の場合は網掛けをしていない。

○　回答数が極端に少ないものは分析結果から除いている。グラフには参考値として記載をしている。

○　満足度※３を掲載している設問については、満足度ごとにポイントを付け、次の計算式で「満足度」（-200～200）を算出した。

※３ 「満足」の割合×２＋「ほぼ満足」の割合×１＋「やや不満」の割合×（－１）＋「不満」の割合×（－２）

満足度	ポイント
満足	＋２点
ほぼ満足	＋１点
やや不満	－１点
不満	－２点

5　調査項目

調査対象ごとに共通設問が分かるように並べた。表の左側には、調査項目が書かれている章を掲載している。

調査項目		小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
第2章　教育に期待することや満足度	①　学校で伸ばしたい力	問5	問5	問6	問8	問3
	②　１人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育	問6	問6	問7	問9	
	③　１人ひとりの活躍や登場の機会	問7	問7	問8	問 10	
	④　集団の中で身に付けるコミュニケーション能力	問8	問8	問9	問 11	
	⑤　多様な意見や考えに触れる機会	問9	問9	問 10	問 12	
	⑥　学校行事や部活動などの集団活動の教育機会	問 10	問 10	問 11	問 13	
	⑦　クラスメイトと楽しく過ごしているか	問 11	問 11			
	⑧　人数が少ないことによる人間関係の困りごと			問 12	問 14	
	⑨　人数が少ない学校の「良い」と思う点		問 12		問 15	問4
	⑩　人数が少ない学校の「良くない」と思う点		問 13		問 16	問5
	⑪　特色ある教育の実施	問 12	問 14	問 13	問 17	問6
第3章　学校規模の満足感と適当な規模	①　クラスの人数の満足感	問 13	問 15	問 14	問 18	
	②　クラスの人数の希望	問 14	問 16	問 15	問 19	
	③　クラスの人数の適当な人数	問 15	問 17	問 16,18	問 20	問7
	④　クラスの人数の適当な人数（理由）			問 17,19	問 21	問8
	⑤　クラス数の満足感	問 16	問 18	問 20	問 22	
	⑥　クラス数の希望	問 17	問 19	問 21	問 23	
	⑦　クラス数の適当な数	問 18	問 20	問 22,23	問 24	問9
	⑧　中学校に進学する（した）ときの不安	問 19	問 21			
	⑨　クラス替えの必要性とその理由			問 24,25		
第4章　小規模校の対策	①　小規模校の対策の必要性			問 26	問 25	問 10
	②　小規模校の対策が必要な理由			問 27,28	問 26	問 11
	③　小規模校の対策の方法			問 29	問 27	問 12
	④　学校統合の条件（小学生、中学生）	問 20	問 22			
	⑤　学校統合の条件（教員、小中保護者、園保護者）			問 30	問 28	問 13
	⑥　学校統合で重視すること			問 31	問 29	問 14
	⑦　ワークショップや意見交換会への参加				問 30	問 15
	⑧　小学校の統合を検討するタイミング			問 32		
第5章　回答者の属性	①　通学（予定）/勤務している小学校	問1		問4	問3	問2
	②　通学/勤務している中学校		問1	問5	問4	
	③　学年	問2	問2		問2	
	④　通学方法	問3	問3		問5	
	⑤　通学時間	問4	問4		問6	
	⑥　年齢			問1		
	⑦　勤務したことのある学校区分			問2		
	⑧　現在勤務している学校区分			問3		
	⑨　子どもとの続柄				問1	問1
	⑩　同居の子ども				問7	

6　結果概要

■教育に期待することや満足度

【学校で伸ばしたい力】

○　学校で伸ばしたい力として、小学生、中学生、教員、小中保護者、園保護者のいずれにおいても「基礎的な知識や技能」、「思いやりや優しさなどの心」、「自分で考え、判断する力」の３つの回答が多くなっている。そのほか、小・中学生は「生きる指針や夢」、教員、小中保護者、園保護者は「様々な考えをもつ人と協力して行動する力」の回答が多い。

【学校教育の満足度】

○　小・中学生において、学校教育の満足度は概ね高く、「１人ひとりの活躍や登場の機会」を除いた項目については、「満足」と「ほぼ満足」の合計が８割以上ある。

○　一方、教員、小中保護者においては、項目によって差がある。小中保護者は、すべての項目について「満足」と「ほぼ満足」の合計が７割以上あるが、教員は、「集団の中で身に付けるコミュニケーション能力」と「多様な意見や考えに触れる機会」について「満足」と「ほぼ満足」の合計が５割程度である。満足度でみると、「多様な意見や考えに触れる機会」は小学校教員で低く、「集団の中で身に付けるコミュニケーション能力」は中学校教員で特に低い。

【項目別「満足」と「ほぼ満足」の割合の合計一覧】

項　目 (%)	小学校			中学校		
	小学生	教員	小中保護者	中学生	教員	小中保護者
1人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育	95.1	83.7	80.4	93.1	73.0	75.7
1人ひとりの活躍や登場の機会	70.8	88.6	87.6	68.9	78.4	83.2
集団の中で身に付けるコミュニケーション能力	85.0	59.0	77.3	86.5	49.5	79.6
多様な意見や考えに触れる機会	88.6	53.0	74.5	94.2	57.6	75.7
学校行事や部活動などの集団活動の教育機会	95.1	78.4	73.1	94.1	66.7	70.6

○　また、小・中学生において、学校のクラスメイトと楽しく過ごしているかについては、「楽しい」と「だいたい楽しい」の合計は９割を超えている。

【人数が少ない学校】

○　教員、小中保護者において、児童生徒の人間関係で、人数が少ないことによる困り事については、「よくある」と「ときどきある」の合計が５～６割程度ある。さらに、小学校・中学校別にみると、「よくある」と「ときどきある」の合計は、小学校の方が高い傾向にある。

○　子どもの人数が少ない学校の「良い」と思う点について、中学生は「友だちがいつも同じで、とても仲良くできる」が、小中保護者や園保護者では「日頃から他の学年の子たちと接する機会があり、やさしさや思いやりの気持ちを持てる」や「授業中、困ったときに先生がすぐに気づいてくれて、個別に教えてくれる」が、多い傾向にある。

○　子どもの人数が少ない学校の「良くない」と思う点について、中学生は「クラス替えがないの

で、たくさんの友だちをつくることができない」が、小中保護者や園保護者は「いろいろな意見や考えにふれる機会が少ない」や「行事、部活動、委員会、遊びなどでいろいろな種類の活動ができない」、「クラス替えがないので、たくさんの友だちをつくることができない」が、多い傾向にある。

【特色ある教育】

○ 特色ある教育について、いずれの対象者においても「体験を重視した教育」への回答が多い。そのほか、小・中学生においては「運動・スポーツ」や「将来の職業を意識したキャリア教育」が多く、小中保護者、園保護者においては「外国語教育（英語教育）」が多い。

■学校規模の満足感と適当な規模

【クラスの人数】

○ 小・中学生において、クラスの人数の満足度は高く、「満足」と「ほぼ満足」の合計は小・中学生ともに９割を超えている。「満足」以外の回答を選んだ小・中学生において、クラスの人数の希望は、「もっと多い方が良い」と回答する割合が、半数を超える。また、適当なクラスの人数は、小・中学生ともに、「２０～２９人」の回答が最も多い。

○ 一方、教員や小中保護者においては、小学校と中学校でクラスの人数の満足度に差がある。小学校では、「満足」と「ほぼ満足」の合計が教員・小中保護者ともに７割程度であるが、中学校では、教員が６割、小中保護者が８割程度である。特に、クラスの人数の希望は、小学校では「もっと多い方が良い」と回答する割合が多いのに対し、中学校では「もっと少ない方が良い」と回答する割合が多くなっている。適当なクラスの人数は、小学校教員のみ「１０～１９人」の回答が最も多く、中学校教員、小中保護者、園保護者は「２０～２９人」の回答が最も多い。

○ 学校規模別にみた場合、１学年１クラス以下の学校（小学校６学級以下、中学校３学級、特別支援学級を除く）では、小・中学生や小学校教員、小中保護者において７割以上が、中学校教員において６割以上が、クラスの人数は「もっと多い方が良い」と回答している。

【クラス数】

○ 小・中学生において、１学年のクラス数の満足度は高く、「満足」と「ほぼ満足」の合計は小・中学生ともに９割を超えている。「満足」以外の回答を選んだ小・中学生において、クラス数の希望は、「もっと多い方が良い」と回答する割合が７割を超える。また、適当なクラス数は、小学生で「１クラス」、中学生で「３クラス」の回答が最も多い。

○ 一方、教員や小中保護者は、１学年のクラス数について、「満足」と「ほぼ満足」の合計が小学校で６割程度、中学校で７割程度である。「満足」以外の回答を選んだ教員や小中保護者において、クラス数の希望は、「もっと多い方が良い」と回答する割合が、８割程度を占める。また、適当なクラス数は、教員、小中保護者、園保護者いずれにおいても、小学校で「２クラス」、中学校で「３クラス」の回答が最も多い。

○ 学校規模別にみた場合、１学年１クラス以下の学校（小学校６学級以下、中学校３学級、特別支援学級を除く）では、教員や小中保護者において９割以上が、クラス数は「もっと多い方が良い」と回答している。

【中学校進学時の不安】

○　中学校に進学する際、クラスの人数・学校規模が変わることへの不安について、小学生では「授業で分からないことがあっても、先生にすぐ聞けるか、わからない」が最も多い。中学生では「他の学校出身の子たちと仲良くなれるか、わからなかった」が最も多く、次いで「クラスメイトの人数が多く、どのように接すればよいか、わからなかった」となっている。

【クラス替え】

○　教員は、クラス替えの必要性について、「必要」と「どちらかというと必要」の合計が９割を超えている。理由として、「児童生徒同士や児童生徒と教員との人間関係に配慮したクラス編成ができる」が最も多く、次いで「児童生徒に新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる」となっている。

■小規模校の対策

【小規模校対策の必要性と方法】

○　小規模校対策の必要性について、「必要」と「どちらかというと必要」の合計は教員で７割、小中保護者で５割、園保護者で６割を超えている。

○　児童生徒の人間関係で人数が少ないことによる困りごとの有無と、小規模校対策の必要性をクロス集計すると、教員は人数が少ないことによる困りごとの有無に関わらず、６割以上が小規模校対策は必要だと感じており、小中保護者は困りごとが「よくある」と答えた人ほど、小規模校対策の必要性を感じている。

○　小規模校対策が必要な理由として、学習面・生活面では、教員、小中保護者、園保護者いずれも「友だち関係がいつも同じで友人間に序列ができてしまう」、「児童生徒が多様な意見や考えに触れる機会が少ない」の回答が多く、学校運営面では、「教職員一人当たりの校務や行事に関わる負担が重い」の回答が教員で最も多い。

○　小規模校の対策の方法として、教員、小中保護者、園保護者いずれも「学校の統合を検討する」が最も多く、次いで「他校との合同授業の実施」となっている。

【学校統合】

○　学校統合の条件について、小・中学生ともに「今の学校の友だちと同じクラスになれる」が最も多く、教員、小中保護者、園保護者いずれも「安全な通学路や通学手段（スクールバスなど）が確保されている」が最も多い。

○　学校の統合を検討する場合に重視すべきこととして、教員、小中保護者、園保護者いずれも「通学距離・時間・方法」が最も多い。

○　学校の統合を検討する際のワークショップや意見交換会への参加は、小中保護者と園保護者の約半数が希望している。

○　小学校の統合を検討する適当なタイミングは、教員の約６割が「全学年で複式学級が見込まれる時点」か、それより早い段階で検討するのが適当だと考えている。

第２章 教育に期待することや満足度

①学校で伸ばしたい力

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問５	問５	問６	問８	問３

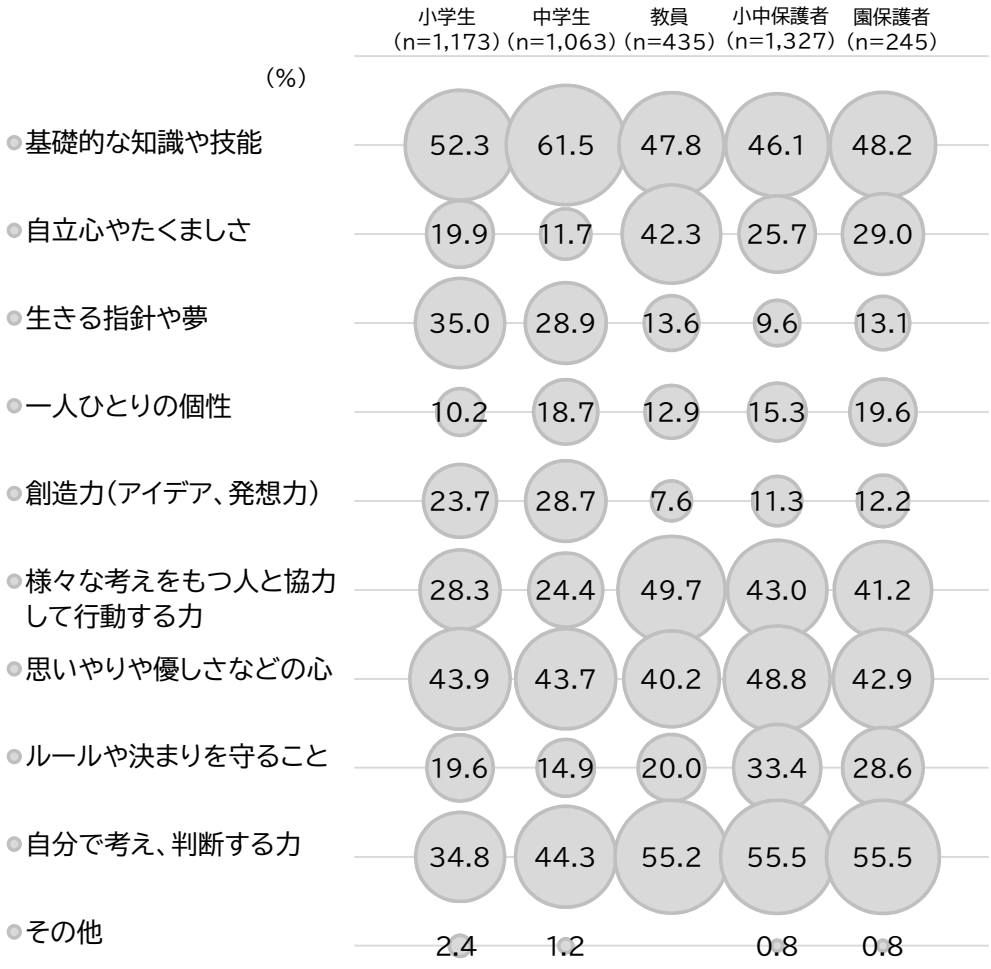
【小学生、中学生】

問．あなたは、学校でどのような力をのばしていきたいですか〈MA〉

【教員、小中保護者、園保護者】

問．あなたは、学校が児童生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があると思いますか。〈MA〉

小学生、中学生、教員、小中保護者、園保護者のいずれにおいても「基礎的な知識や技能」、「思いやりや優しさなどの心」、「自分で考え、判断する力」の３つの回答が多くなっている。小・中学生においては「生きる指針や夢」、教員、小中保護者、園保護者においては「様々な考えをもつ人と協力して行動する力」の回答が多い。



②１人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問６	問６	問７	問９	

【小学生】

問. あなたの学校の先生は、学校で授業中、こまったときすぐに気づいて、あなたに分かるように教えてくれますか。〈SA〉

【中学生】

問. あなたの学校の先生は、学校で授業中、困ったときすぐに気づいて、個別に教えてくれますか。〈SA〉

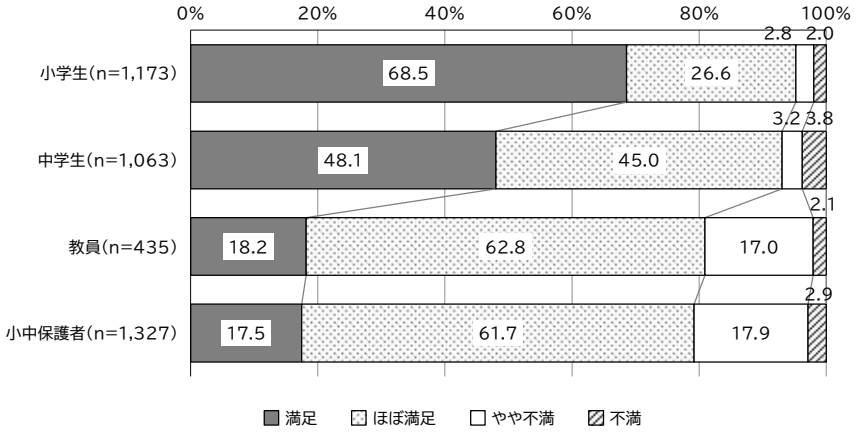
【教員】

問. あなたは、自分が勤務する学校での「児童生徒１人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育」について、満足していますか。〈SA〉

【小中保護者】

問. あなたは、学校での「お子さん１人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育」について、満足していますか。〈SA〉

小・中学生では「満足」と「ほぼ満足」の合計は９割を超えている。教員、小中保護者では８割程度となっている。満足度では小学生が最も高く、小中保護者が最も低い。



満足度
156.8
130.4
78.0
73.0

教員、小中保護者の回答を小学校・中学校別にみると、小学校の方が満足度が高い。

%		満足	ほぼ満足	やや不満	不満	満足度
教員	小学校(n=324)	21.0	62.7	14.5	1.9	86.4
	中学校(n=111)	9.9	63.1	24.3	2.7	53.2
小中保護者	小学校(n=994)	19.7	60.7	16.8	2.8	77.7
	中学校(n=333)	10.8	64.9	21.3	3.0	59.2

③１人ひとりの活躍や登場の機会

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問７	問７	問８	問 10	

【小学生、中学生】

問．あなたは、学校の授業や行事などで、自分が中心となって活躍できる場がありますか。〈SA〉

【教員】

問．あなたは、自分が勤務する学校での「児童生徒１人ひとりの活躍や登場の機会」について、満足していますか。〈SA〉

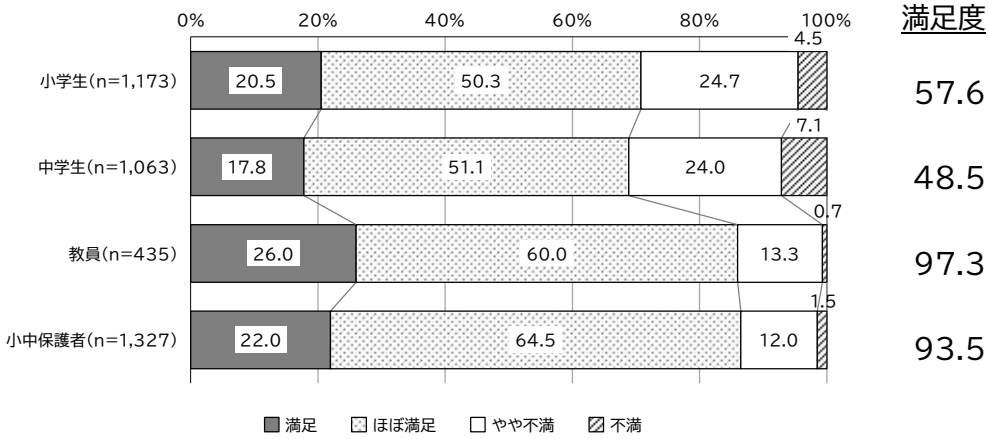
【小中保護者】

問．あなたは、学校での「お子さん１人ひとりの活躍や登場の機会」について、満足していますか。〈SA〉

小・中学生ともに、「ほぼ満足」（小学生 50.3%、中学生 51.1%）が最も多くなっており、「満足」と「ほぼ満足」の合計は７割程度となっている。

教員、小中保護者では「ほぼ満足」（教員 60.0%、小中保護者 64.5%）が最も多く、「満足」と「ほぼ満足」の合計は８割を超えている。

満足度では教員が最も高く、中学生が最も低い。



満足度

57.6

48.5

97.3

93.5

教員、小中保護者の回答を小学校・中学校別にみると、小学校の方が満足度が高い。

%		満足	ほぼ満足	やや不満	不満	満足度
教員	小学校(n=324)	29.6	59.0	10.5	0.9	105.9
	中学校(n=111)	15.3	63.1	21.6	0.0	72.1
小中保護者	小学校(n=994)	24.6	63.0	10.9	1.5	98.3
	中学校(n=333)	14.1	69.1	15.3	1.5	79.0

④集団の中で身に付けるコミュニケーション能力

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問８	問８	問９	問 11	

【小学生、中学生】

問. あなたは、学校で相手の気持ちを理解したり、自分の気持ちを伝えることができていますか。〈SA〉

【教員】

問. あなたは、自分が勤務する学校での「児童生徒が集団の中で身に付けるコミュニケーション能力の習得」について、満足していますか。〈SA〉

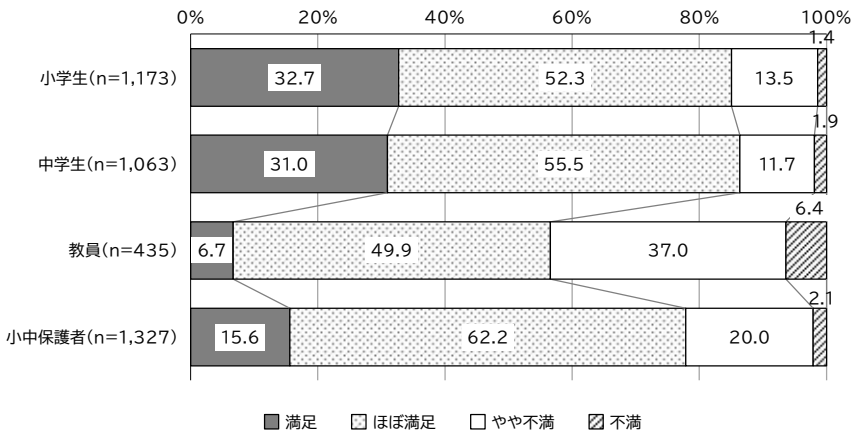
【小中保護者】

問. あなたは、学校での「お子さんが集団の中で身に付けるコミュニケーション能力の習得」について、満足していますか。〈SA〉

小・中学生ともに、「ほぼ満足」（小学生 52.3%、中学生 55.5%）が最も多くなっており、「満足」と「ほぼ満足」の合計は８割を超えている。

教員、小中保護者では「ほぼ満足」（教員 49.9%、小中保護者 62.2%）が最も多く、次いで「やや不満」（教員 37.0%、小中保護者 20.0%）となっている。

満足度では中学生が最も高く、教員が最も低い。



満足度

101.4

102.0

13.5

69.2

教員、小中保護者の回答を小学校・中学校別にみると、中学校教員の満足度が最も低い。

%		満足	ほぼ満足	やや不満	不満	満足度
教員	小学校(n=324)	6.8	52.2	34.6	6.5	18.2
	中学校(n=111)	6.3	43.2	44.1	6.3	-0.9
小中保護者	小学校(n=994)	16.7	60.6	20.3	2.4	68.9
	中学校(n=333)	12.3	67.3	19.2	1.2	70.3

⑤多様な意見や考えに触れる機会

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問９	問９	問 10	問 12	

【小学生、中学生】

問．あなたは、学校でいろいろな意見や考え方を知ることができていますか。〈SA〉

【教員】

問．あなたは、自分が勤務する学校での「児童生徒が多様な意見や考え方に触れる機会」について、満足していますか。〈SA〉

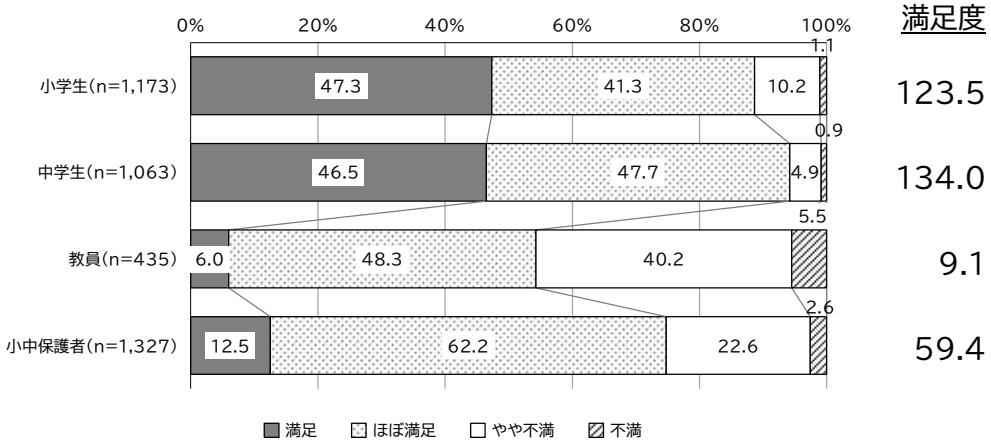
【小中保護者】

問．あなたは、学校での「お子さんが多様な意見や考え方に触れる機会」について、満足していますか。〈SA〉

小・中学生において「満足」と「ほぼ満足」の合計は９割程度となっている。

教員、小中保護者では「ほぼ満足」（教員 48.3%、小中保護者 62.2%）が最も多く、次いで「やや不満」（教員 40.2%、小中保護者 22.6%）となっている。

満足度では中学生が最も高く、教員が最も低い。



教員、小中保護者の回答を小学校・中学校別にみると、小学校教員の満足度が最も低い。

%		満足	ほぼ満足	やや不満	不満	満足度
教員	小学校(n=324)	4.9	48.1	40.4	6.5	4.5
	中学校(n=111)	9.0	48.6	39.6	2.7	21.6
小中保護者	小学校(n=994)	13.5	61.0	22.6	2.9	59.6
	中学校(n=333)	9.6	66.1	22.5	1.8	59.2

⑥学校行事や部活動などの集団活動の教育機会

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 10	問 10	問 11	問 13	

【小学生、中学生】

問. あなたは、学校の行事、クラブ活動（部活動）、委員会、遊びなどで、いろいろな種類の活動ができていますか。〈SA〉

【教員】

問. あなたは、自分が勤務する学校での「学校行事や部活動などの集団活動の教育機会」について、満足していますか。〈SA〉

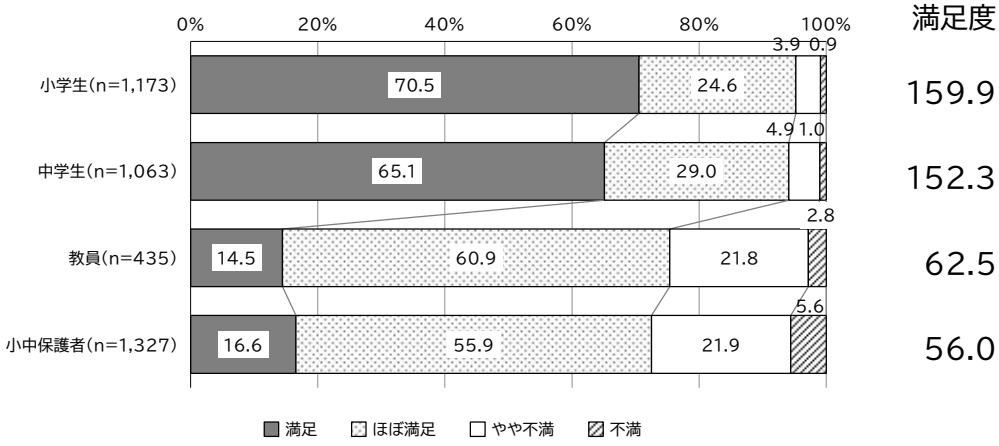
【小中保護者】

問. あなたは、「お子さんの学校行事や部活動などの集団活動の教育機会」について、満足していますか。〈SA〉

小・中学生ともに、「満足」（小学生 70.5%、中学生 65.1%）が最も多くなっており、「満足」と「ほぼ満足」の合計は９割を超えている。

教員、小中保護者では「ほぼ満足」（教員 60.9%、小中保護者 55.9%）が最も多く、次いで「やや不満」（教員 21.8%、小中保護者 21.9%）となっている。

満足度では小学生が最も高く、小中保護者が最も低い。



満足度

159.9

152.3

62.5

56.0

教員、小中保護者の回答を小学校・中学校別にみると、中学校教員の満足度が最も低い。

%		満足	ほぼ満足	やや不満	不満	満足度
教員	小学校(n=324)	15.7	62.7	19.8	1.9	70.5
	中学校(n=111)	10.8	55.9	27.9	5.4	38.8
小中保護者	小学校(n=994)	17.8	55.3	21.6	5.2	58.9
	中学校(n=333)	12.9	57.7	22.8	6.6	47.5

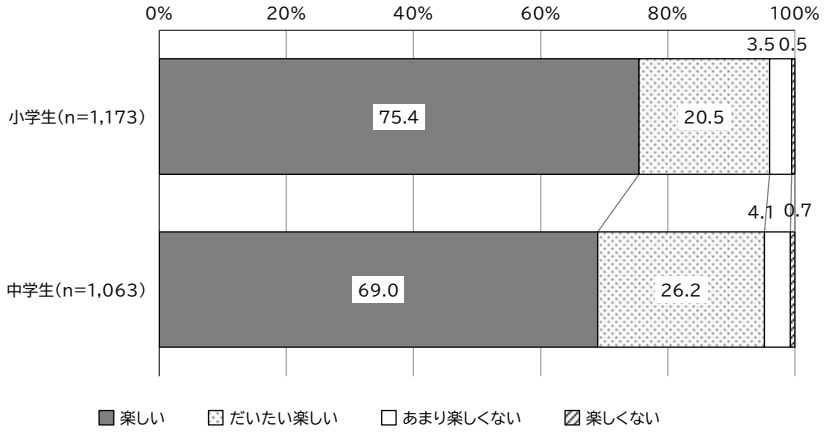
⑦クラスメイトと楽しく過ごしているか

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 11	問 11			

【小学生、中学生】

問. あなたは、学校のクラスメイトと楽しく過ごしていますか。〈SA〉

小・中学生ともに、「楽しい」（小学生 75.4%、中学生 69.0%）が最も多くなっており、「楽しい」と「だいたい楽しい」の合計は９割を超えている。



⑧人数が少ないことによる人間関係の困りごと

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
		問 12	問 14	

【教員】

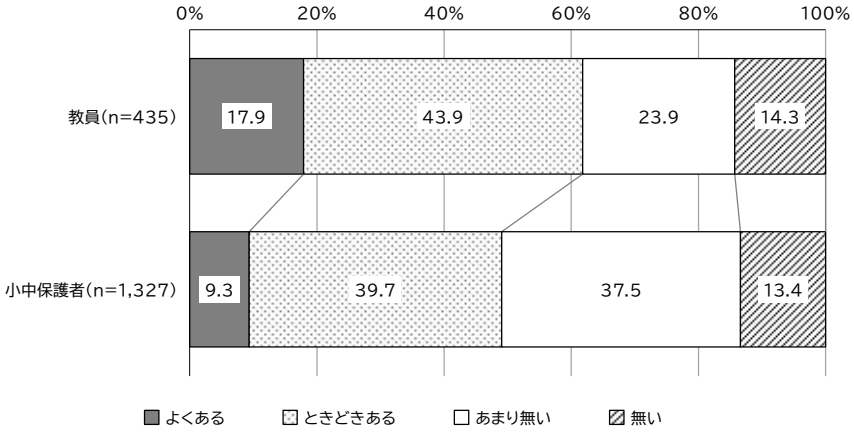
問．あなたは、自分が担任するクラスの児童生徒の人間関係で、人数が少ないことによる困り事はありますか。〈SA〉

※担任でない場合は、小学校に勤務する人は６年１組、中学校に勤務する人は３年１組を想定して答えてください。

【小中保護者】

問．学校でのお子さんの人間関係で、人数が少ないことによる困り事はありますか。〈SA〉

教員、小中保護者ともに、「ときどきある」（教員 43.9%、小中保護者 39.7%）が最も多く、教員では「よくある」と「ときどきある」の合計が６割を超えている。



教員、小中保護者の回答を小学校・中学校別にみると、困りごとが「よくある」と「ときどきある」の合計は小学校教員が最も高い。

	%	よくある	ときどきある	あまり無い	無い	「よくある」「時々ある」の合計
教員	小学校(n=324)	19.1	47.5	22.5	10.8	66.6%
	中学校(n=111)	14.4	33.3	27.9	24.3	47.7%
小中保護者	小学校(n=994)	10.0	40.6	36.0	13.4	50.6%
	中学校(n=333)	7.5	36.9	42.0	13.5	44.4%

⑨人数が少ない学校の「良い」と思う点

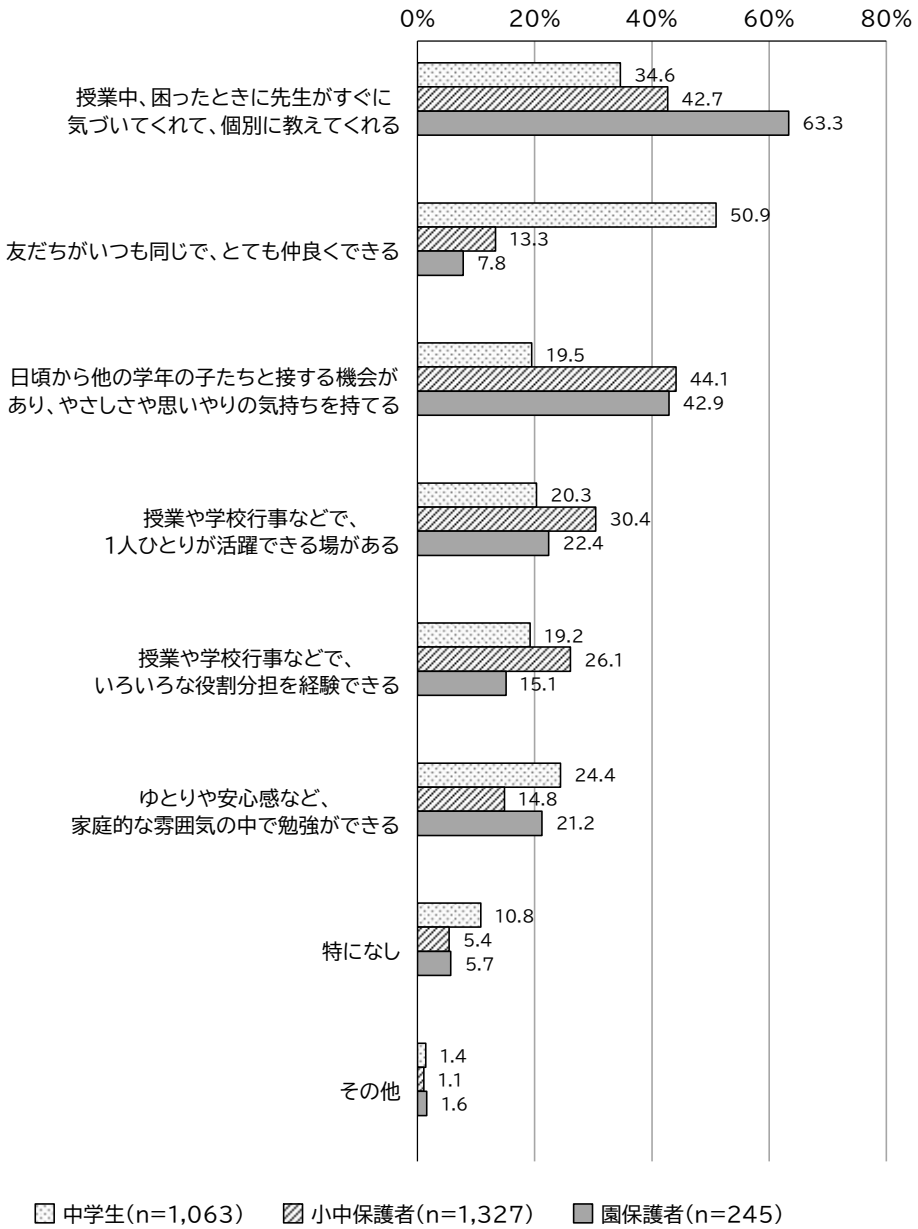
小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
	問 12		問 15	問 4

【中学生、小中保護者、園保護者】

問. あなたは、子どもの人数が少ない学校の「良い」と思う点はありますか。〈MA〉

中学生は「友だちがいつも同じで、とても仲良くできる」が 50.9%、小中保護者では「日頃から他の学年の子たちと接する機会があり、やさしさや思いやりの気持ちを持てる」が 44.1%、園保護者では「授業中、困ったときに先生がすぐに気づいてくれて、個別に教えてくれる」が 63.3%と最も多くなっている。

「友だちがいつも同じで、とても仲良くできる」は小中保護者、園保護者と比べると中学生の回答の割合が高く、「日頃から他の学年の子たちと接する機会があり、やさしさや思いやりの気持ちを持てる」は中学生と比較すると小中保護者と園保護者の回答の割合が高い。



⑩人数が少ない学校の「良くない」と思う点

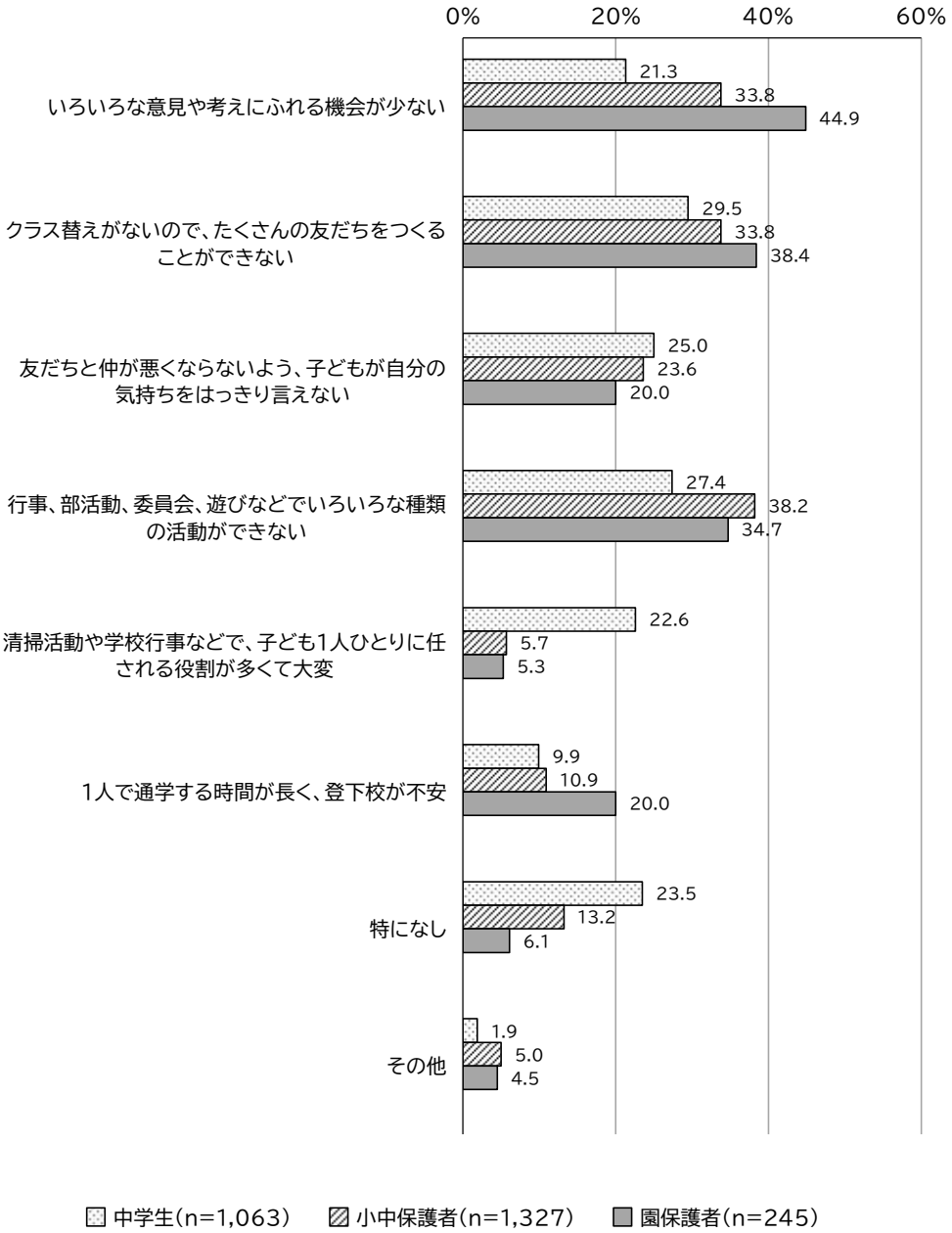
小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
	問 13		問 16	問 5

【中学生、小中保護者、園保護者】

問．あなたは、子どもの人数が少ない学校の「良くない」と思う点はありますか。〈MA〉

中学生は「クラス替えがないので、たくさんの友だちをつくることができない」が 29.5%、小中保護者では「行事、部活動、委員会、遊びなどでいろいろな種類の活動ができない」が 38.2%、園保護者では「いろいろな意見や考えにふれる機会が少ない」が 44.9%と最も多くなっている。

「清掃活動や学校行事などで、子ども一人ひとりに任される役割が多くて大変」は小中保護者や園保護者と比較すると中学生の回答の割合が高い。



⑪特色ある教育の実施

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 12	問 14	問 13	問 17	問 6

【小学生、中学生】

問．あなたは、学校でどのようなことを学びたいですか。〈MA〉

【教員】

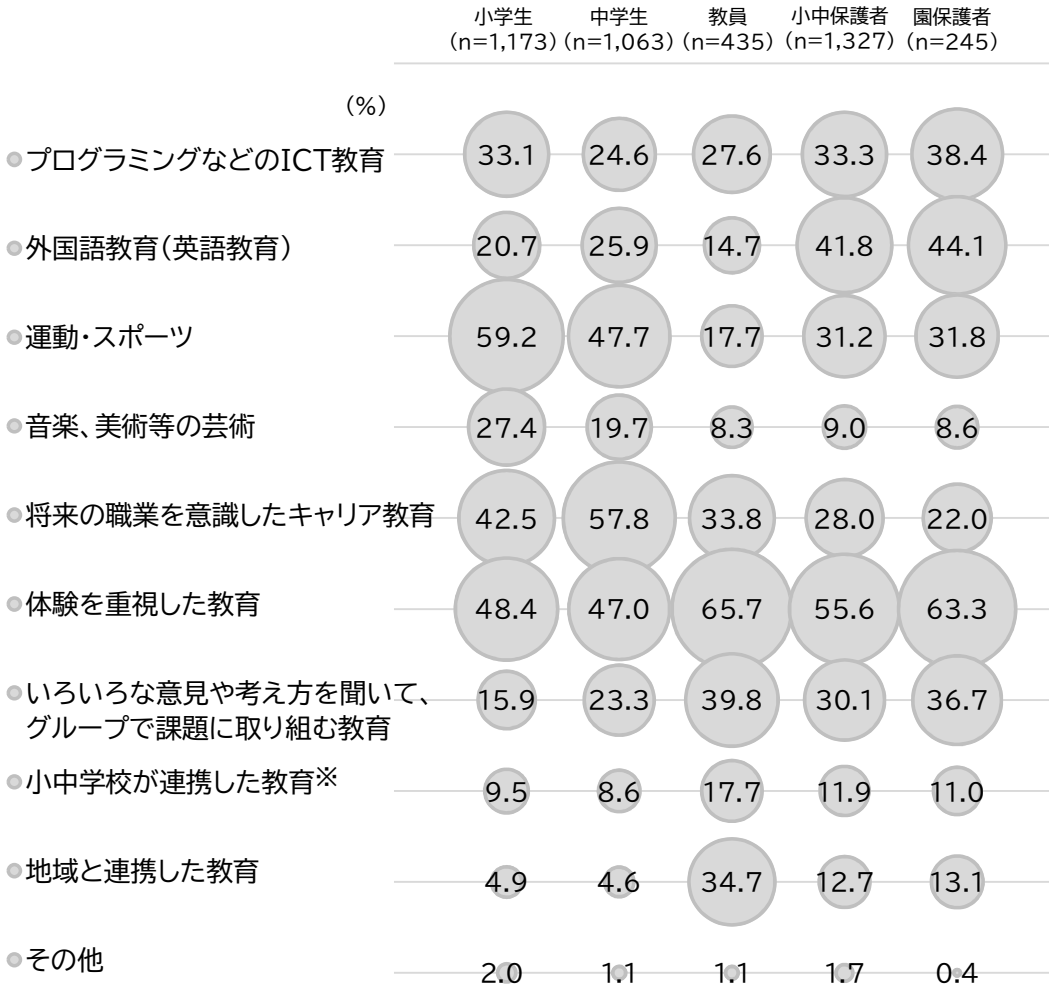
問．あなたは、豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとよいと思いますか。〈MA〉

【小中保護者、園保護者】

問．あなたは、学校でお子さんにどのような特色ある教育を受けさせたいですか。〈MA〉

小学生、中学生、教員、小中保護者、園保護者のいずれにおいても「体験を重視した教育」への回答が多くなっている。

また、小学生、中学生においては「運動・スポーツ」や「将来の職業を意識したキャリア教育」が多く、小中保護者、園保護者においては「外国語教育（英語教育）」が多い。



※中学校の先生が小学校で授業を実施したり、小学生と中学生が一緒に行事をするなど

第３章 学校規模の満足感と適当な規模

①クラスの人数の満足感

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 13	問 15	問 14	問 18	

【小学生、中学生】

問．あなたは、自分の学校の 1 クラスの人数について、満足していますか。〈SA〉

【教員】

問．あなたは、自分が担任するクラス規模（1 クラスの人数）に満足していますか。〈SA〉

※担任でない場合は、小学校に勤務する人は 6 年 1 組、中学校に勤務する人は 3 年 1 組を想定して答えてください。

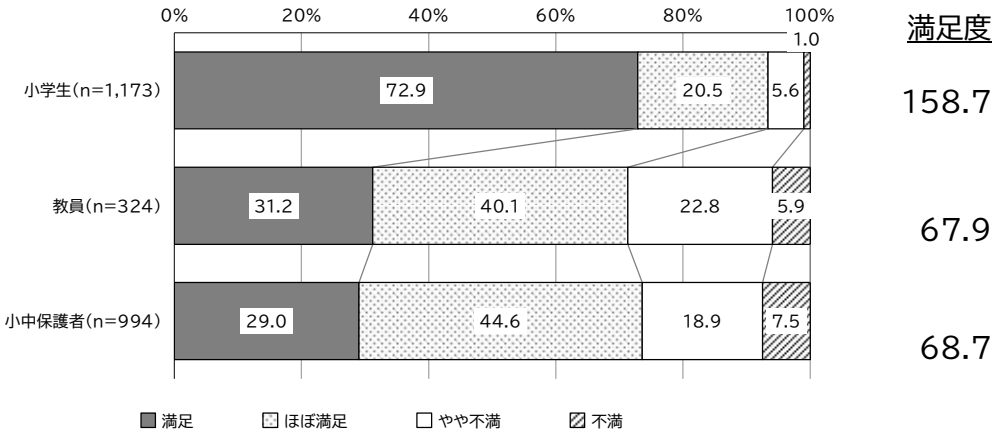
【小中保護者】

問．あなたは、お子さんの学校のクラス規模（1 クラスの人数）に満足していますか。〈SA〉

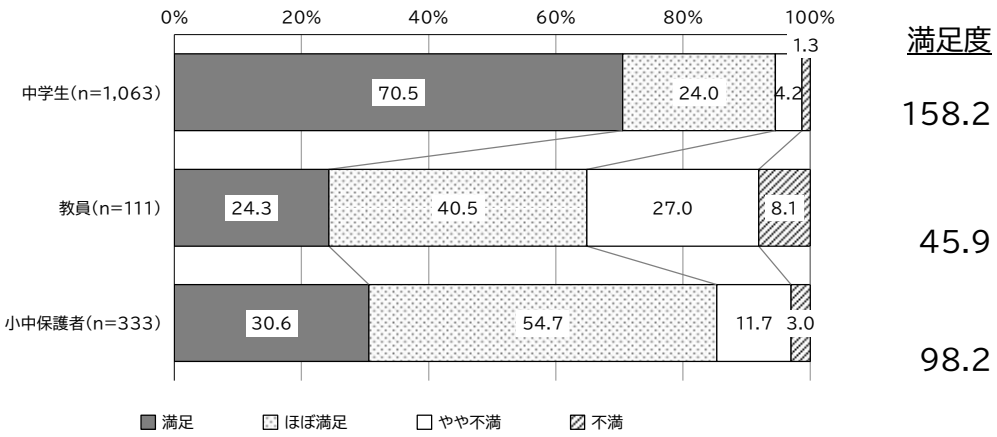
小・中学生ともに、「満足」（小学生 72.9%、中学生 70.5%）が最も多くなっており、「満足」と「ほぼ満足」の合計は９割を超えている。

満足度で比較すると、小学生が最も高く、中学校勤務の教員が低くなっている。

【小学校】 ※「教員」は小学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は小学生の保護者のみの回答を集計



【中学校】 ※「教員」は中学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は中学生の保護者のみの回答を集計



②クラスの人数の希望

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 14	問 16	問 15	問 19	

※「①クラスの人数の満足感」で「ほぼ満足」「やや不満」「不満」を選んだ人

【小学生、中学生】

問. あなたは、自分の学校の 1 クラスの人数について、どのように感じますか。〈SA〉

【教員】

問. あなたは、自分が担任するクラス規模（1 クラスの人数）について、どのように感じますか。〈SA〉

※担任でない場合は、小学校に勤務する人は 6 年 1 組、中学校に勤務する人は 3 年 1 組を想定して答えてください。

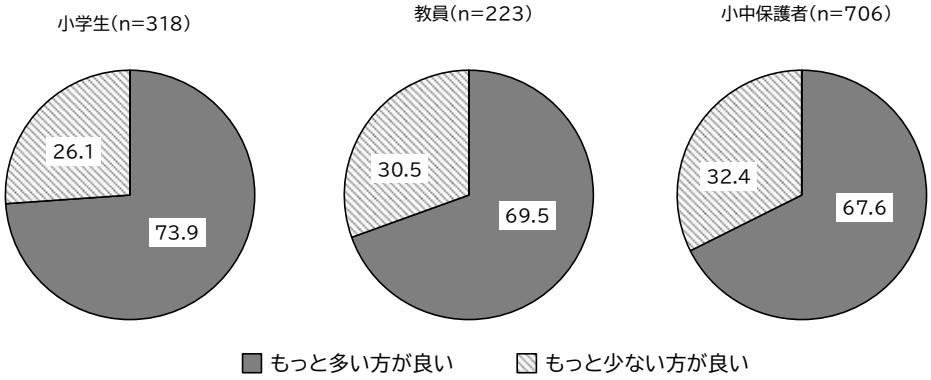
【小中保護者】

問. あなたは、お子さんの学校のクラス規模（1 クラスの人数）について、どのように感じますか。〈SA〉

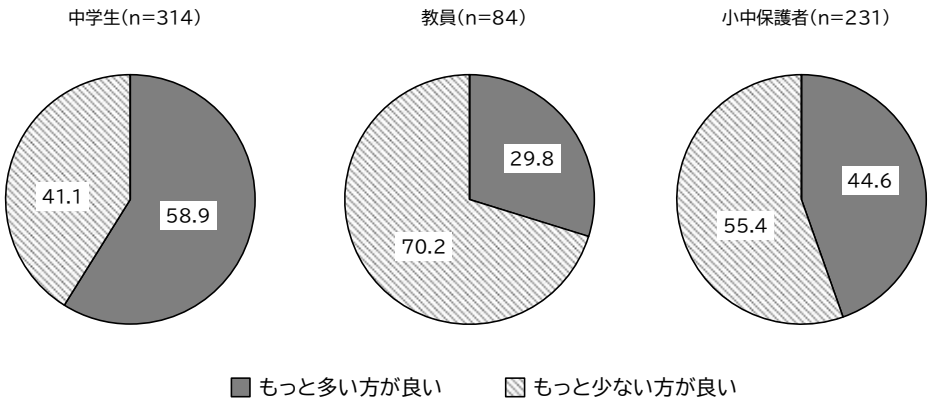
学校区分別にみると、小学校では小学生、教員、小中保護者において「もっと多い方が良い」（小学生 73.9%、教員 69.5%、小中保護者 67.6%）が多くなっている。

中学校では、中学生においては 58.9%が「もっと多い方が良い」とする一方、教員、小中保護者では「もっと少ない方が良い」（教員 70.2%、小中保護者 55.4%）が多い。

【小学校】 ※「教員」は小学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は小学生の保護者のみの回答を集計



【中学校】 ※「教員」は中学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は中学生の保護者のみの回答を集計

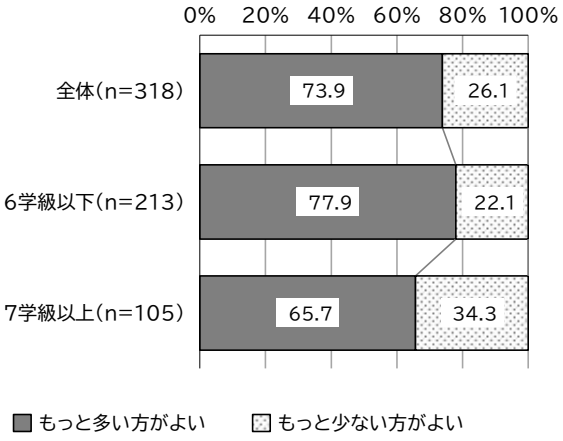


学校規模別にみたクラスの人数の希望

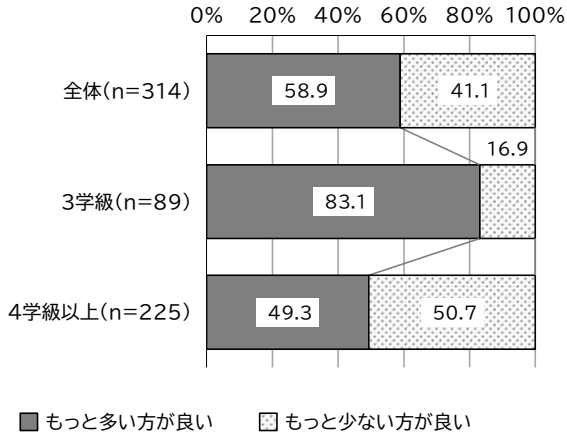
小学生においては、学級規模に関わらず半数以上がクラスの人数は「もっと多い方が良い」と回答している。

中学生においては、1 学年 1 クラスの学校（中学校 3 学級、特別支援学級を除く）では、クラスの人数は「もっと多い方が良い」の回答が多い。

【小学生】



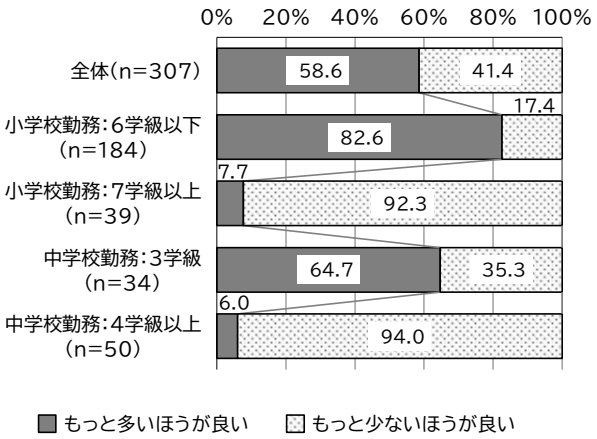
【中学生】



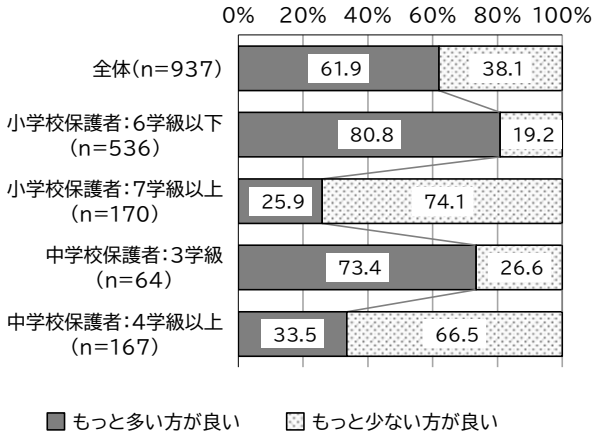
1 学年 1 クラス以下の学校（小学校 6 学級以下、中学校 3 学級、特別支援学級を除く）では、小学校教員、小中保護者において 7 割以上が、中学校教員において 6 割以上が、クラスの人数は「もっと多い方が良い」と回答している。

一方、1 学年 2 クラス以上の学年がある学校（小学校 7 学級以上、中学校 4 学級以上、特別支援学級を除く）では、教員や小中保護者において、クラスの人数は「もっと少ない方が良い」の回答が多い。

【教員】



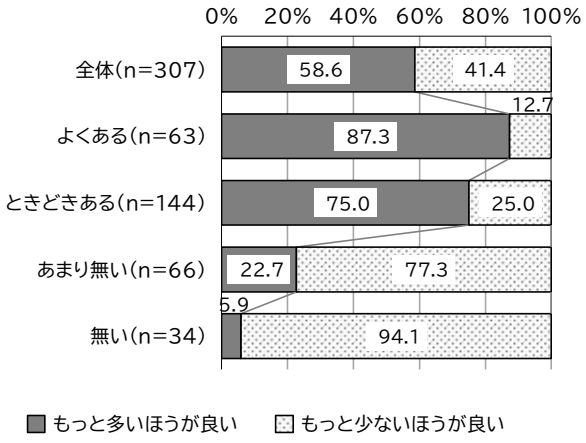
【小中保護者】



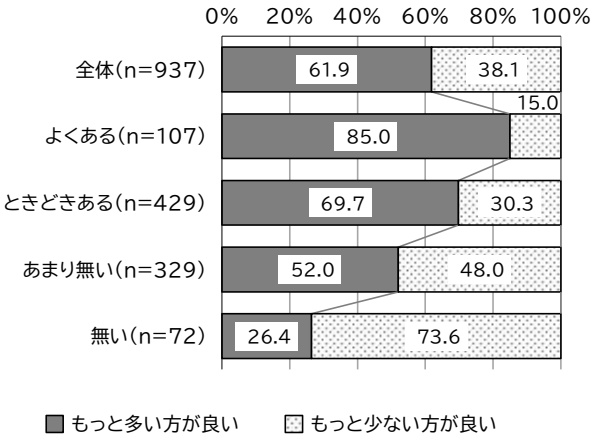
人数が少ないことによる人間関係の困りごと別にみたクラスの人数の希望

教員、小中保護者いずれにおいても、人数が少ないことによる人間関係の困りごとがよくあると回答した人は、困りごとが無いと回答した人と比べ、クラスの人数が「もっと多い方が良い」と回答した割合が高い。

【教員】



【小中保護者】



③クラスの人数の適当な人数

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 15	問 17	問 16,18	問 20	問 7

【小学生、中学生】

問. あなたは、1 クラスの人数について、どのくらいが良いと思いますか。〈SA〉

【教員】

問. あなたは、小学校（中学校）のクラス規模※（1 クラスの人数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。〈SA〉

【小中保護者、園保護者】

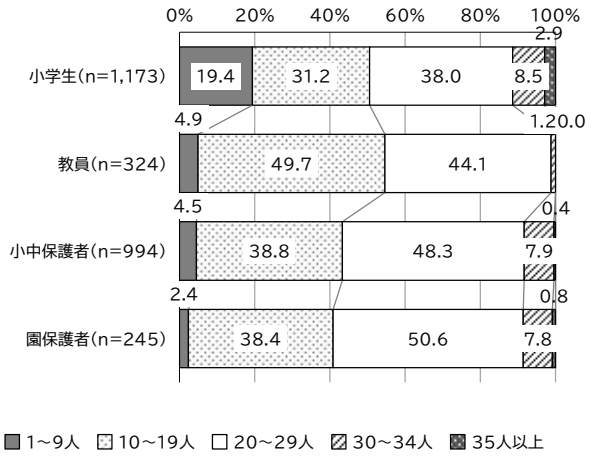
問. あなたは、お子さんの学校のクラス規模※（1 クラスの人数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。〈SA〉

※1 クラスの人数は、小学 1～3 年生が 30 人、小学 4、5 年生、中学 1～3 年生が 35 人を豊田市の標準としています。小学 1～3 年生で 30 人学級を行っていない場合や、小学 6 年生で 35 人を超えるクラスがある場合は、少人数指導が維持できるように、非常勤講師やサポートティーチャーを配置しています。（令和 5 年度時点）

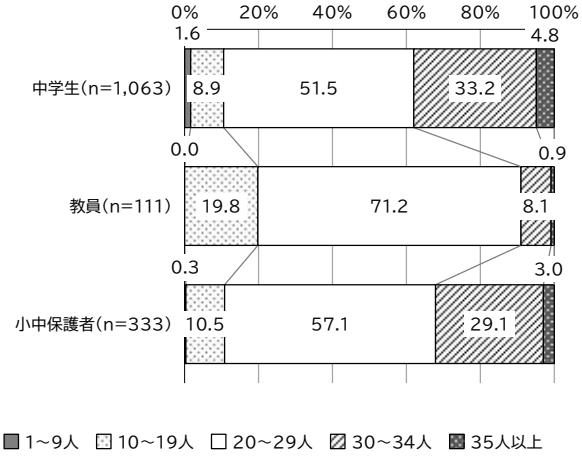
小学校では、小学生、小中保護者、園保護者は「20～29 人」が最も多く、それぞれ 38.0%、48.3%、50.6%となっている。教員は「10～19 人」の回答が最も多く 49.7%となっている。

中学校では、中学生、教員、小中保護者のいずれにおいても「20～29 人」が最も多く、それぞれ 51.5%、71.2%、57.1%となっている。

【小学校】※「教員」は小学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は小学生の保護者のみの回答を集計



【中学校】※「教員」は中学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は中学生の保護者のみの回答を集計



④クラスの人数の適当な人数（理由）

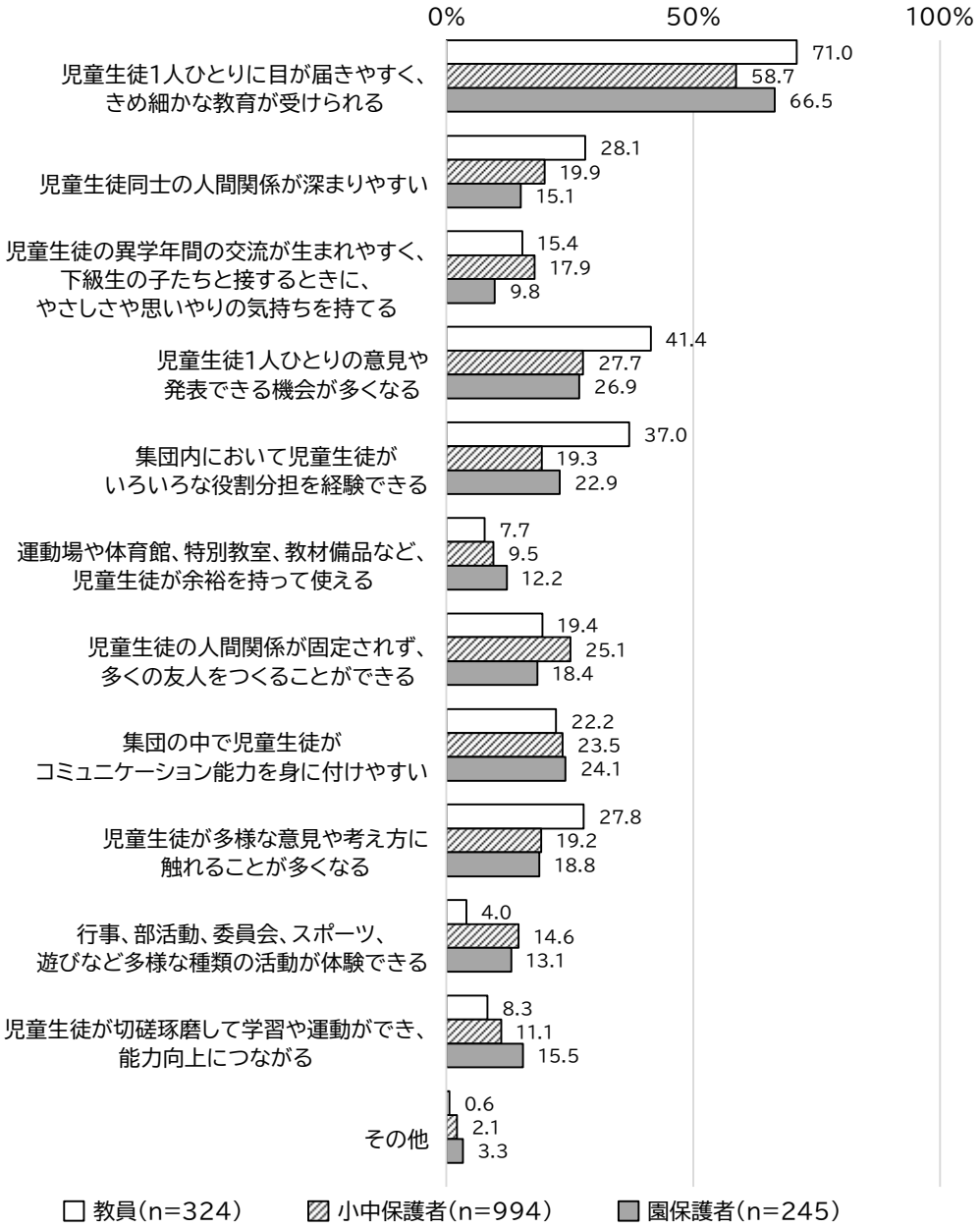
小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
		問 17,19	問 21	問 8

【教員、小中保護者、園保護者】

問．③クラスの人数の適当な人数の回答の理由として、当てはまるものをお選びください。〈MA〉

教員、小中保護者、園保護者のいずれにおいても小学校、中学校ともに「児童生徒１人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」（【小学校】教員 71.0%、小中保護者 58.7%、園保護者 66.5%、【中学校】教員 72.1%、小中保護者 51.4%）が最も多くなっている。

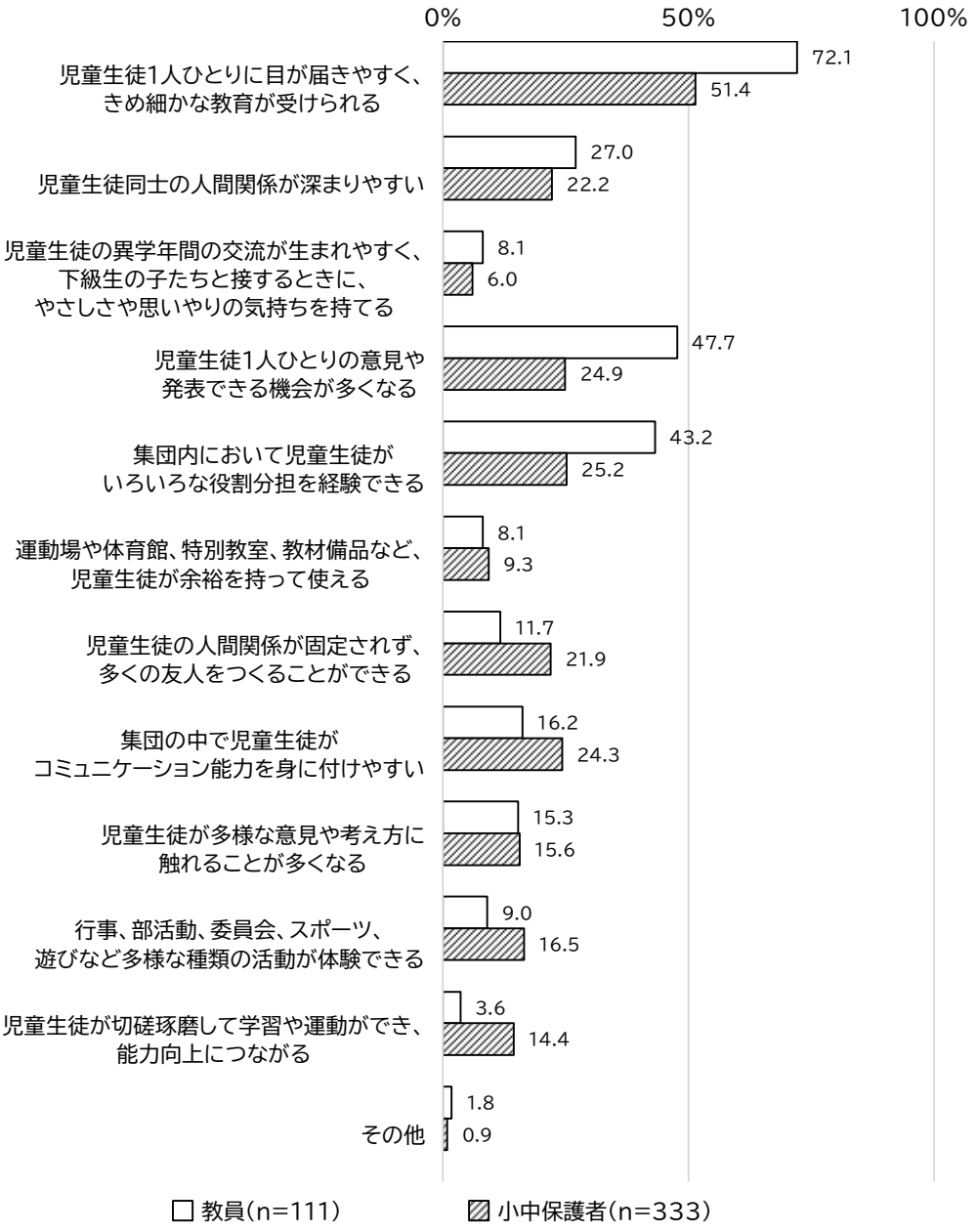
【小学校】 ※「教員」は小学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は小学生の保護者のみの回答を集計



（再掲）【教員、小中保護者、園保護者】

問．③クラスの人数の適当な人数の回答の理由として、当てはまるものをお選びください。〈MA〉

【中学校】 ※「教員」は中学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は中学生の保護者のみの回答を集計



⑤クラス数の満足感

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 16	問 18	問 20	問 22	

【小学生、中学生】

問．あなたは、自分の学校の１学年のクラス数について、満足していますか。〈SA〉

【教員】

問．あなたは、自分が勤務する学校の学校規模（1 学年のクラス数）に満足していますか。〈SA〉

【小中保護者】

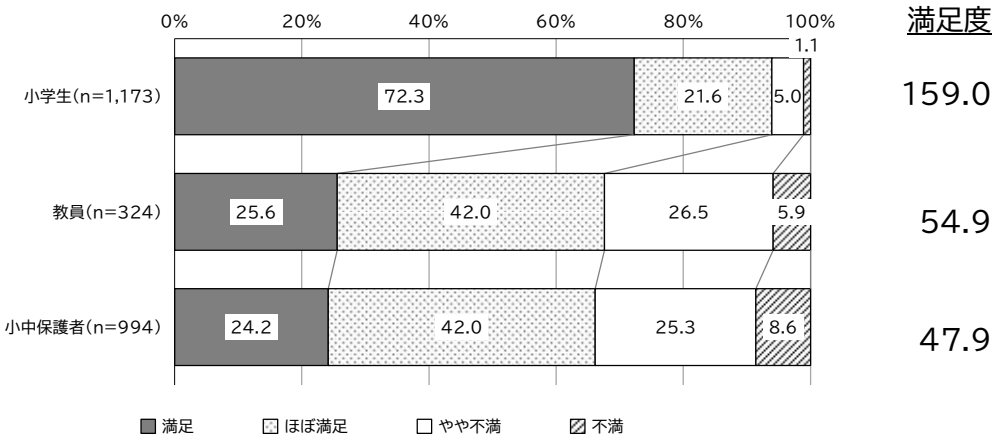
問．あなたは、お子さんの学校規模（1 学年のクラス数）に満足していますか。〈SA〉

小学校では、小学生の７割以上が「満足」と回答している一方で、教員、小中保護者では小学生と比較すると「満足」の回答が少ない。

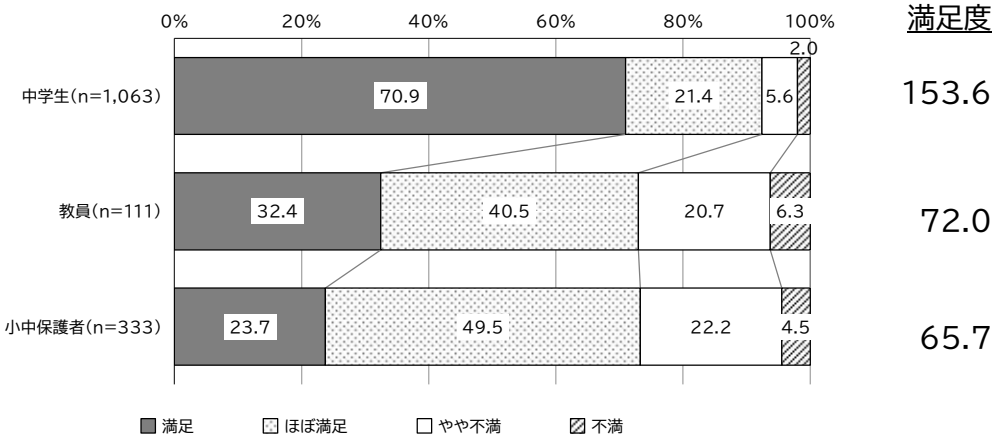
中学校においても小学校同様に、中学生の７割以上が「満足」と回答している一方で、教員、小中保護者では中学生と比較すると「満足」の回答が少ない。

満足度でみると、教員と保護者は小・中学生と比べると満足度が低く、差がみられる。

【小学校】 ※「教員」は小学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は小学生の保護者のみの回答を集計



【中学校】 ※「教員」は中学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は中学生の保護者のみの回答を集計



⑥クラス数の希望

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 17	問 19	問 21	問 23	

※「⑤クラス数の満足感」で「ほぼ満足」「やや不満」「不満」を選んだ人

【小学生、中学生】

問. あなたは、自分の学校の１学年のクラス数について、どのように感じますか。〈SA〉

【教員】

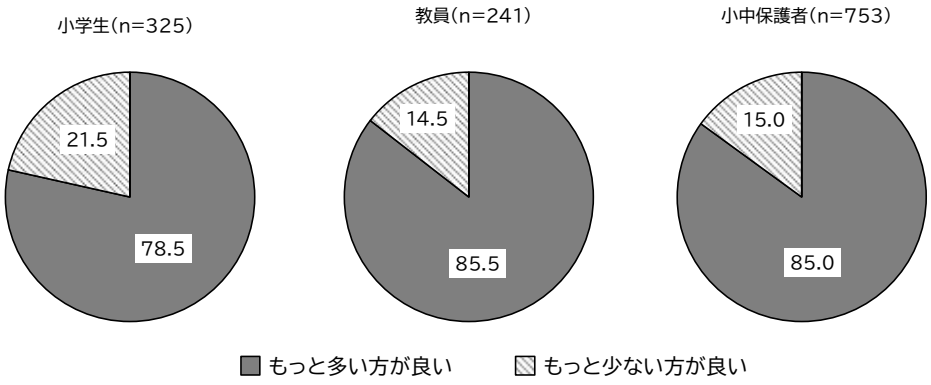
問. あなたは、自分が勤務する学校の学校規模（1 学年のクラス数）について、どのように感じますか。〈SA〉

【小中保護者】

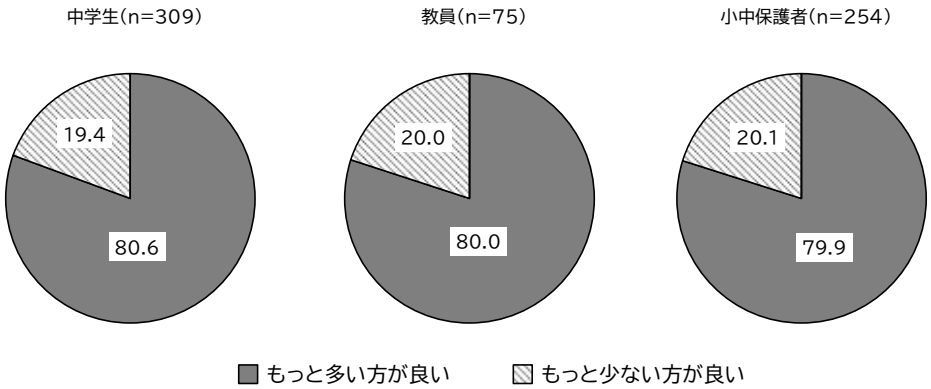
問. あなたは、お子さんの学校規模（1 学年のクラス数）について、どのように感じますか。〈SA〉

学校区分別にみると、小・中学生、教員、小中保護者いずれにおいても「もっと多い方が良い」が８割程度を占めている。

【小学校】 ※「教員」は小学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は小学生の保護者のみの回答を集計



【中学校】 ※「教員」は中学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は中学生の保護者のみの回答を集計

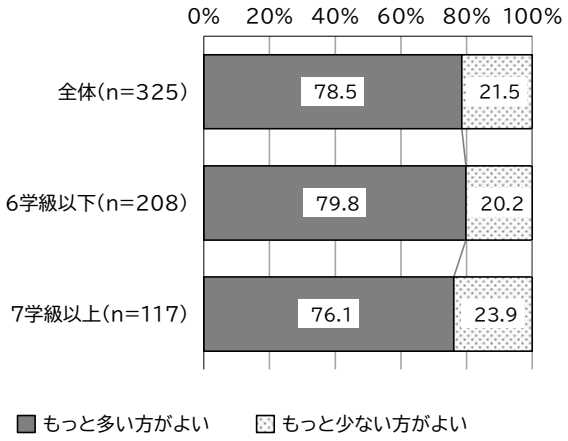


学校規模別にみたクラス数の希望

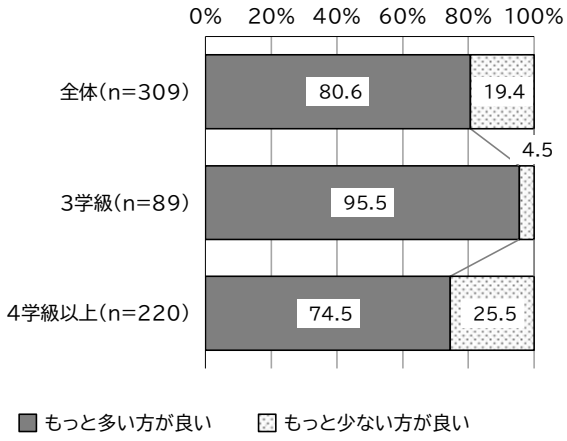
小学生においては、学級規模に関わらず７割以上がクラス数は「もっと多い方が良い」と回答している。

中学生においては、１学年１クラスの学校（中学校３学級、特別支援学級を除く）では９割以上が、１学年２クラス以上の学年がある学校（中学校４学級以上、特別支援学級を除く）では７割以上が、クラス数は「もっと多い方が良い」と回答している。

【小学生】



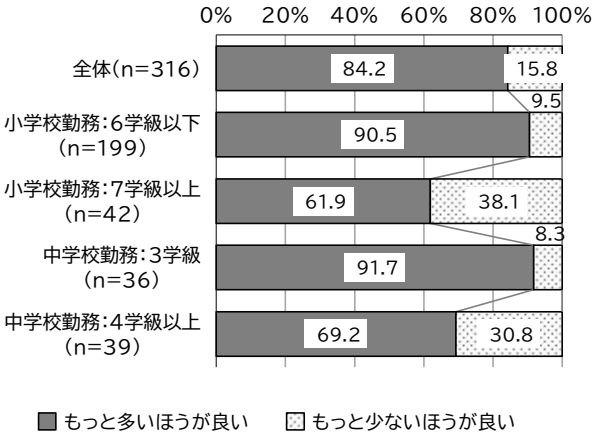
【中学生】



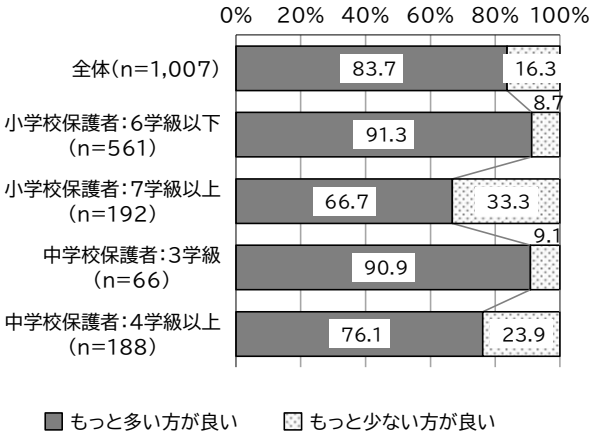
１学年１クラス以下の学校（小学校６学級以下、中学校３学級、特別支援学級を除く）では、教員や小中保護者において９割以上が、クラス数は「もっと多い方が良い」と回答している。

また、１学年２クラス以上の学年がある学校（小学校７学級以上、中学校４学級以上、特別支援学級を除く）でも、教員や小中保護者において６割以上が、クラス数は「もっと多い方が良い」と回答している。

【教員】



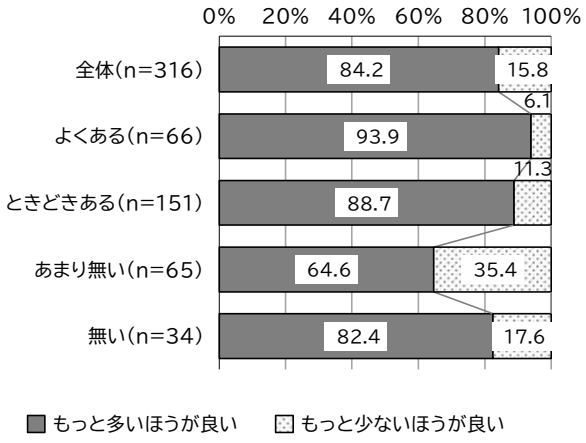
【小中保護者】



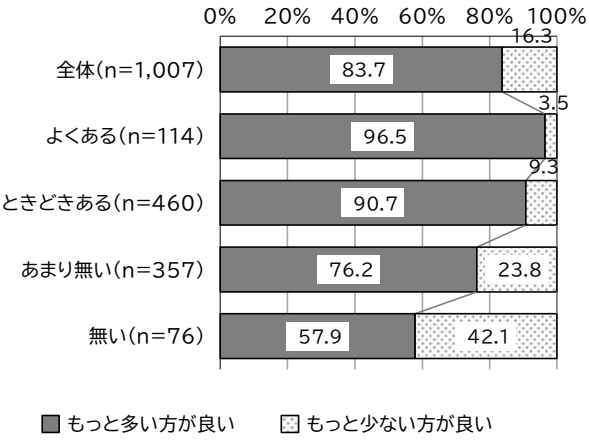
人数が少ないことによる人間関係の困りごと別にみたクラス数の希望

教員は人数が少ないことによる困りごとに関わらず、クラス数が「もっと多い方が良い」と感じているが、小中保護者は困りごとが「よくある」と答えた人ほど、クラス数が「もっと多い方が良い」と感じる傾向がみられる。

【教員】



【小中保護者】



⑦クラス数の適当な数

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 18	問 20	問 22,23	問 24	問 9

【小学生、中学生】

問. あなたは、１学年のクラス数について、どのくらいが良いと思いますか。〈SA〉

【教員】

問. あなたは、小学校（中学校）の学校規模※（1 学年のクラス数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。〈SA〉

【小中保護者、園保護者】

問. あなたは、お子さんの学校規模※（１学年のクラス数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。〈SA〉

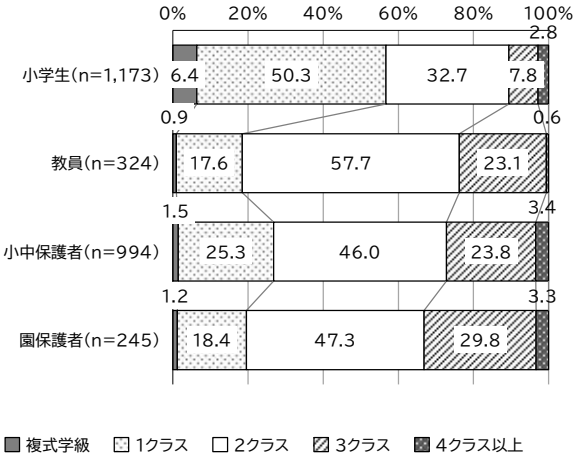
※学校規模について、小学校は 1 学年当たり 2～3 クラス、中学校は 1 学年当たり 4～6 クラスを国の標準としています。
※複式学級の愛知県の基準は、原則、小学校 1・2 学年で 7 人以下、3・4 学年、5・6 学年で 14 人以下となるとき、中学校 2 学年で 8 人以下となるときです。

小学校では、小学生は「１クラス」の回答が最も多く 50.3%となっており、教員、小中保護者、園保護者においては「２クラス」が最も多く、それぞれ 57.7%、46.0%、47.3%となっている。

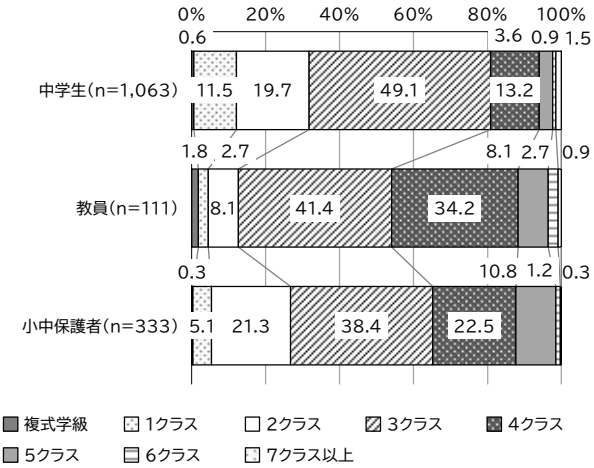
中学校では、中学生、教員、小中保護者のいずれにおいても「３クラス」が最も多く、それぞれ 49.1%、41.4%、38.4%となっている。

教員と保護者は小・中学生よりも、クラス数が多いことを望む傾向がみられる。

【小学校】 ※「教員」は小学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は小学生の保護者のみの回答を集計。小中保護者においては5クラス以上を選択した場合、「4クラス以上」として回答を集約しています。



【中学校】 ※「教員」は中学校勤務の教員のみを、「小中保護者」は中学生の保護者のみの回答を集計



⑧中学校に進学する（した）ときの不安

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 19	問 21			

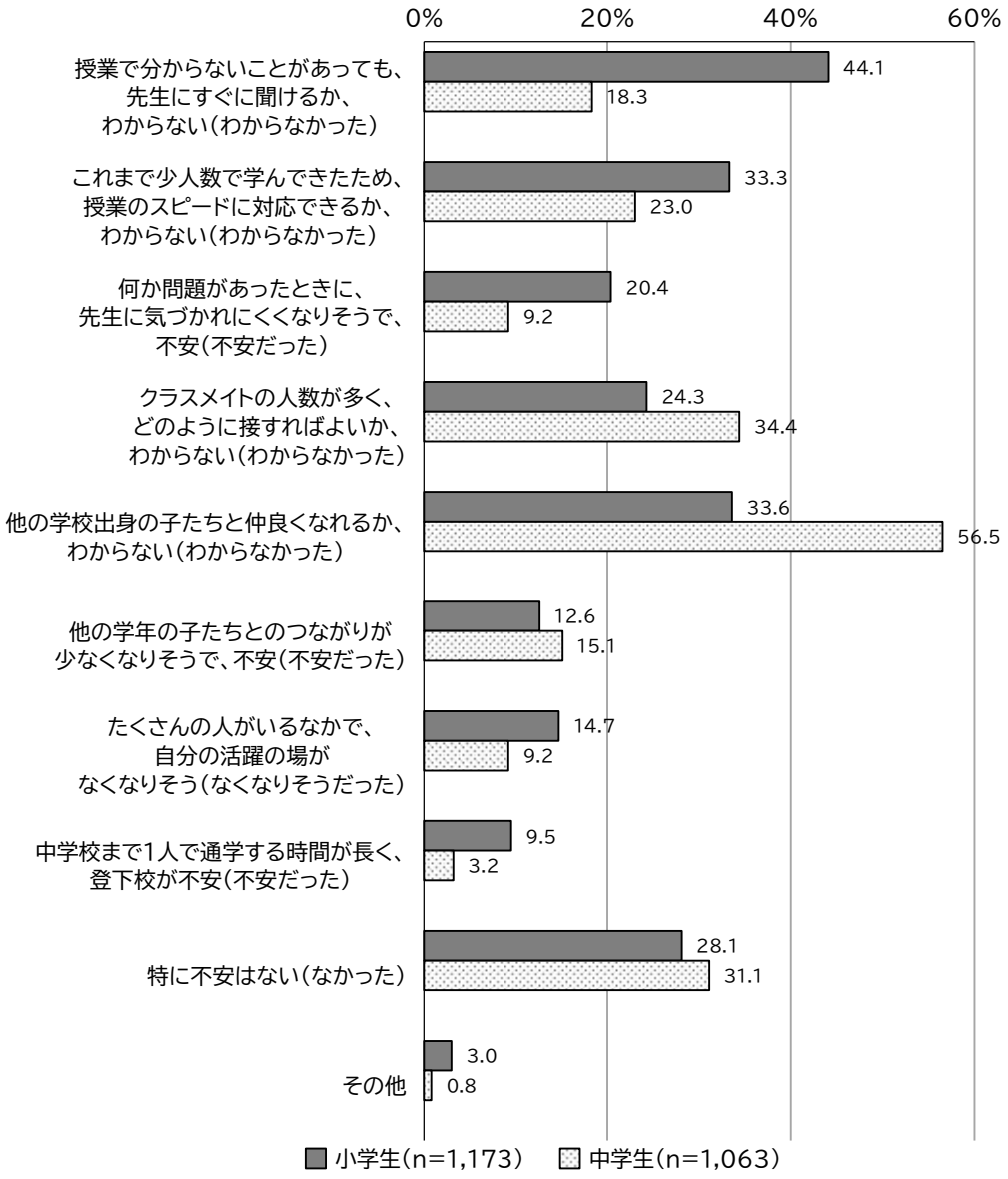
【小学生】

問. あなたは、中学校に進学するとき、クラスの人数やクラス数が小学校のときよりもふえることで、不安に思うことはありますか。〈MA〉

【中学生】

問. あなたは、中学校に進学したとき、クラスの人数やクラス数が小学校のときよりも増えることで、不安に思うことはありましたか。〈MA〉

小学生では「授業で分からないことがあっても、先生にすぐ聞けるか、わからない」が 44.1%と最も多い。中学生では「他の学校出身の子たちと仲良くなれるか、わからなかった」が 56.5%と最も多く、次いで「クラスメイトの人数が多く、どのように接すればよいか、わからなかった」が 34.4%となっている。



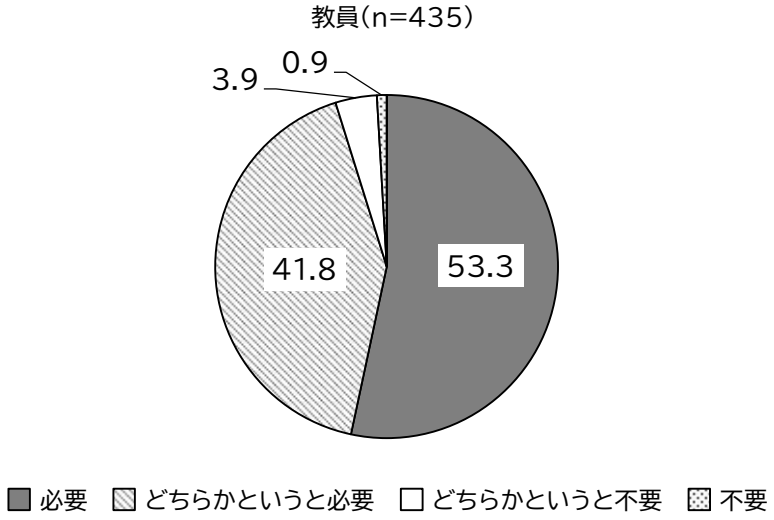
⑨クラス替えの必要性とその理由

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
		問 24,25		

【教員】

問．あなたは、学校のクラス替えの必要性について、どう思いますか。〈SA〉

クラス替えが「必要」と回答している割合が 53.3%で最も多く、「どちらかというと必要」との合計では９割を超えている。

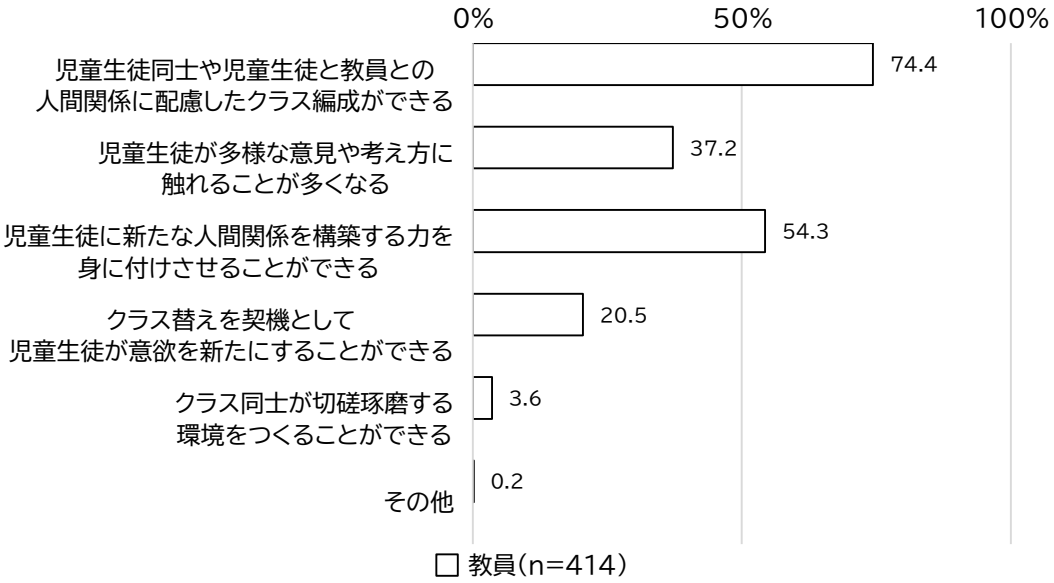


※「クラス替えの必要性」で「必要」「どちらかというと必要」を選んだ人

【教員】

問．回答の理由として、当てはまるものをお選びください。〈MA〉

「児童生徒同士や児童生徒と教員との人間関係に配慮したクラス編成ができる」が 74.4%で最も多く、次いで「児童生徒に新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる」が 54.3%となっている。



第４章 小規模校の対策

①小規模校の対策の必要性

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
		問 26	問 25	問 10

【教員】

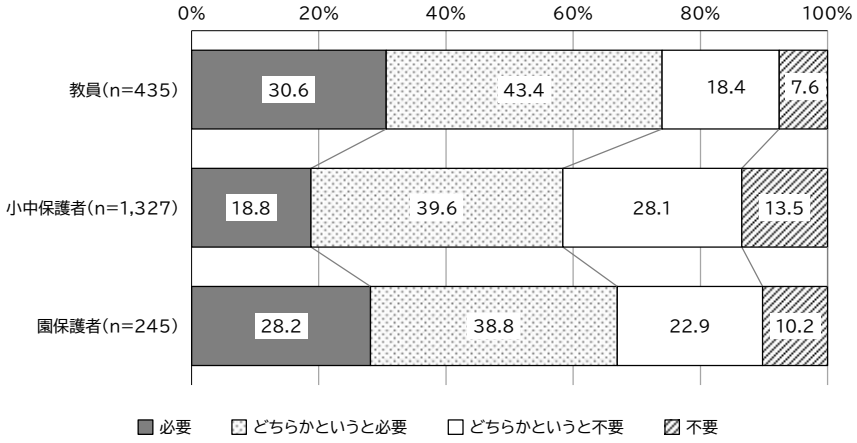
問．あなたは、小規模校※の対策（例：通学する学校を自由に選択、学校の統合等）は、必要だと思いますか。〈SA〉

【小中保護者、園保護者】

問．あなたは、お子さんの学校で小規模校※の対策（例：通学する学校を自由に選択、学校の統合等）は、必要だと思いますか。〈SA〉

※学校全体のクラス数が、11 クラス以下になる学校を小規模校としています。

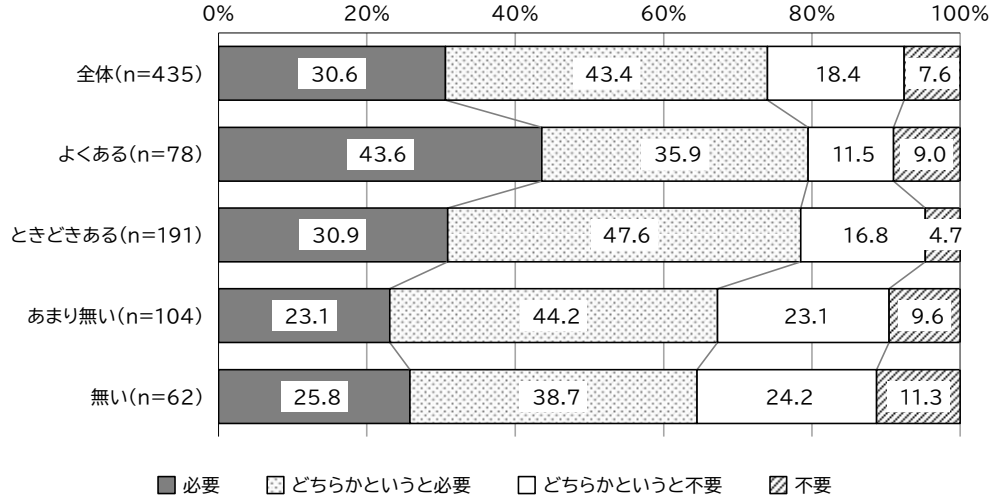
「必要」と「どちらかというと必要」の合計は教員で７割、小中保護者で５割、園保護者で６割を超えている。



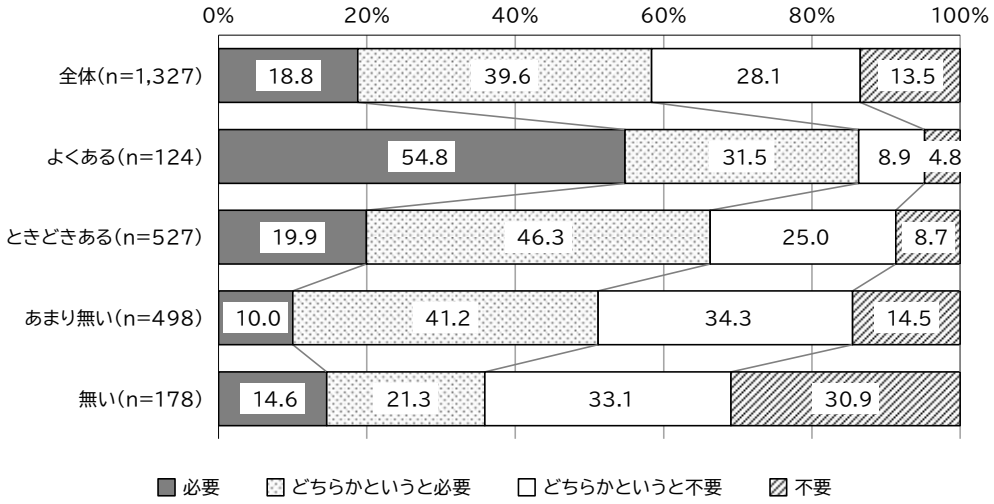
人数が少ないことによる人間関係の困りごと別にみた小規模校の対策の必要性

教員は人数が少ないことによる困りごとの有無に関わらず、６割以上が小規模校対策は必要だと感じており、小中保護者は困りごとが「よくある」と答えた人ほど、小規模校対策の必要性を感じる傾向がみられる。

【教員】



【小中保護者】

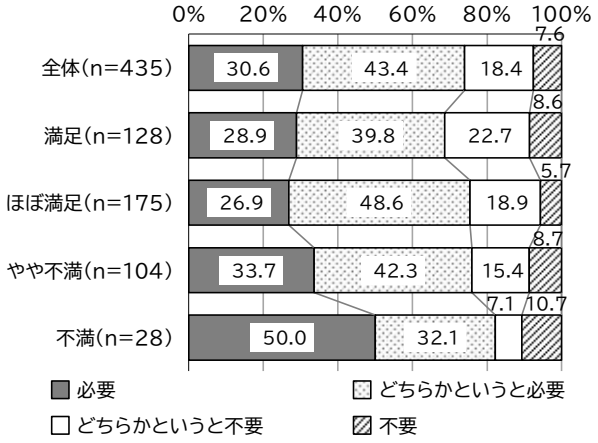


クラスの人数の満足感別にみた小規模校対策の必要性

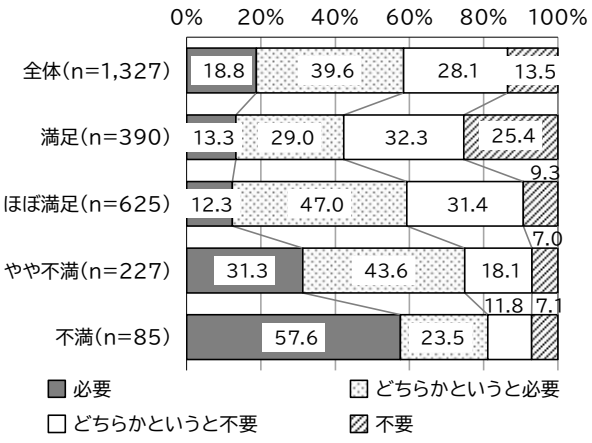
教員においてはクラスの人数の満足感に関わらず、７割程度が小規模校対策について「必要」「どちらかというと必要」と回答している。

小中保護者においては、クラスの人数の満足感に不満と回答した人ほど、小規模校対策が必要であると感じる傾向がみられる。

【教員】



【小中保護者】

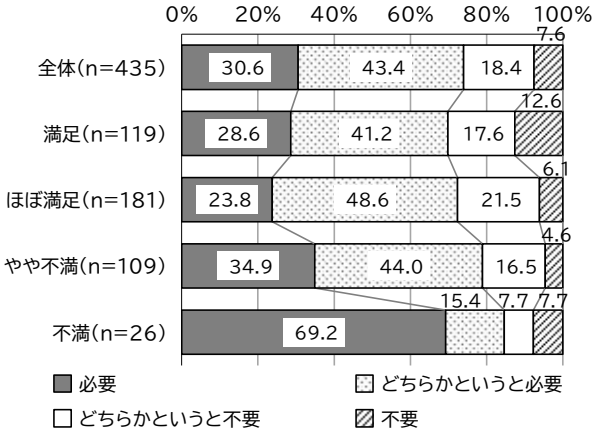


クラス数の満足感別にみた小規模校対策の必要性

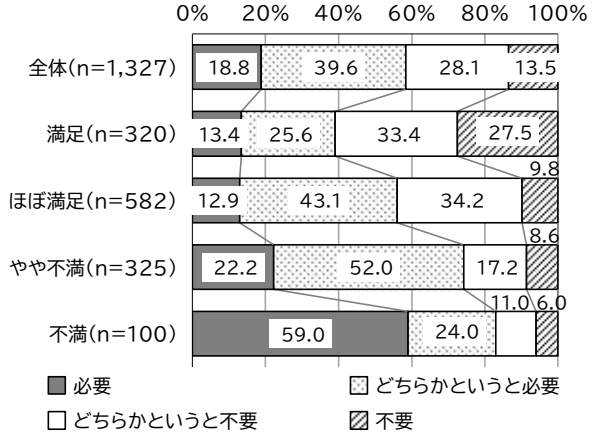
教員においてはクラス数の満足度に関わらず、７割程度が小規模校対策について「必要」「どちらかというと必要」と回答している。

教員、小中保護者いずれにおいてもクラス数の満足感に不満と回答した人ほど、小規模校対策が必要であると感じる傾向がみられる。

【教員】



【小中保護者】



②小規模校の対策が必要な理由

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
		問 27,28	問 26	問 11

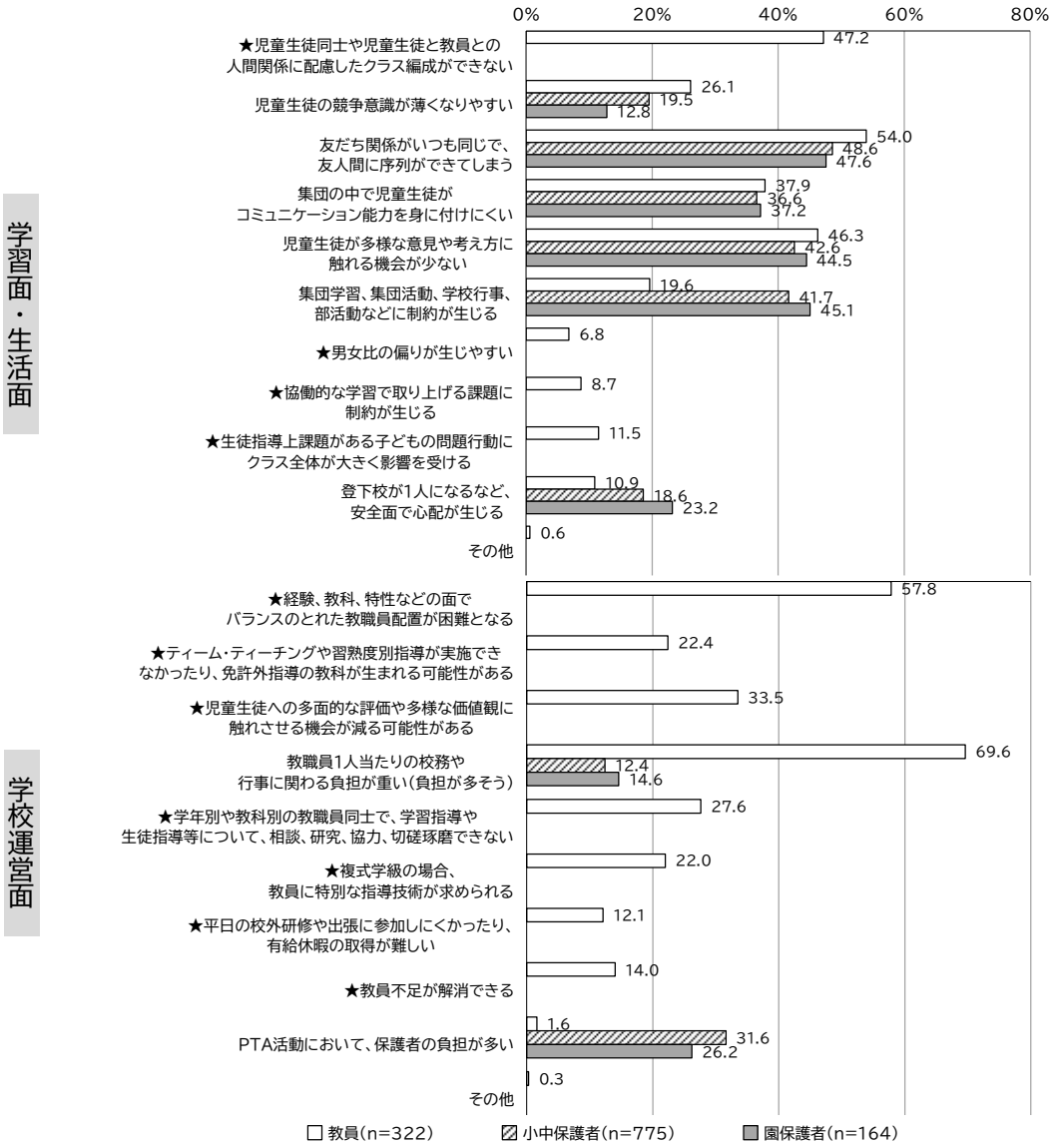
※「①小規模校の対策の必要性」で「必要」「どちらかというと必要」を選んだ人

【教員、小中保護者、園保護者】

問．小規模校の対策が「必要」「どちらかというと必要」と思う理由として、当てはまるものをお選びください。〈MA〉

学習面・生活面では、教員、小中保護者、園保護者いずれも「友だち関係がいつも同じで友人間に序列ができてしまう」、「児童生徒が多様な意見や考えに触れる機会が少ない」の回答が多い。

学校運営面では、「教職員 1 人当たりの校務や行事に関わる負担が重い」の回答が教員で最も多い。



※「★」は、教員にのみ含まれる選択肢となっている

※「その他」について、小中保護者、園保護者は「学習面・生活面」と「学校運営面」の回答をそれぞれ内包しているため、グラフに記載をしていない。なお、小中保護者と園保護者の「その他」の回答はそれぞれ 2.5%、3.7%となっている

③小規模校の対策の方法

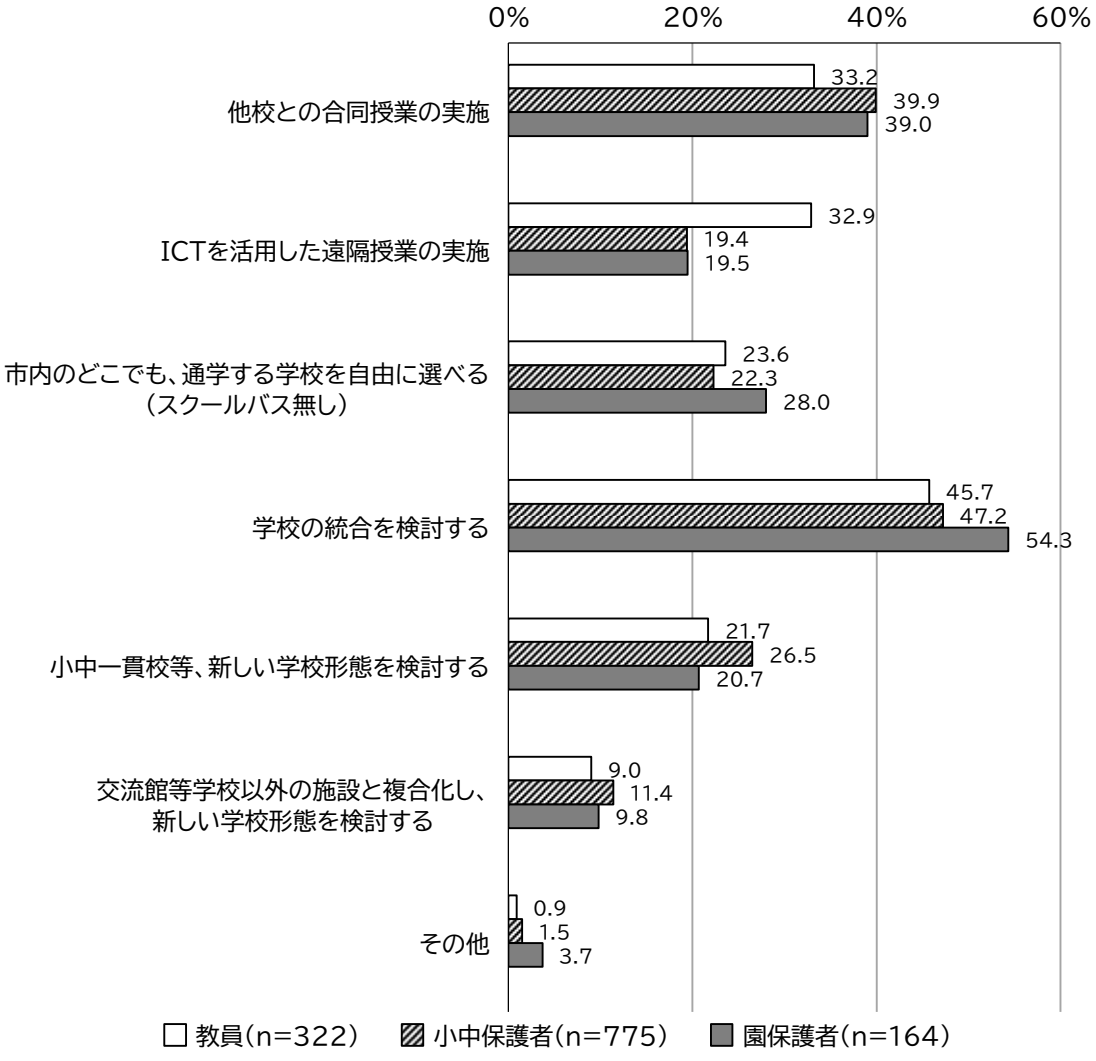
小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
		問 29	問 27	問 12

※「①小規模校の対策の必要性」で「必要」「どちらかというと必要」を選んだ人

【教員、小中保護者、園保護者】

問．児童生徒数が少ない小規模校対策として、どのような方法が考えられますか。〈MA〉

教員、小中保護者、園保護者いずれも「学校の統合を検討する」（教員 45.7%、小中保護者 47.2%、園保護者 54.3%）が最も多く、次いで「他校との合同授業の実施」（教員 33.2%、小中保護者 39.9%、園保護者 39.0%）となっている。



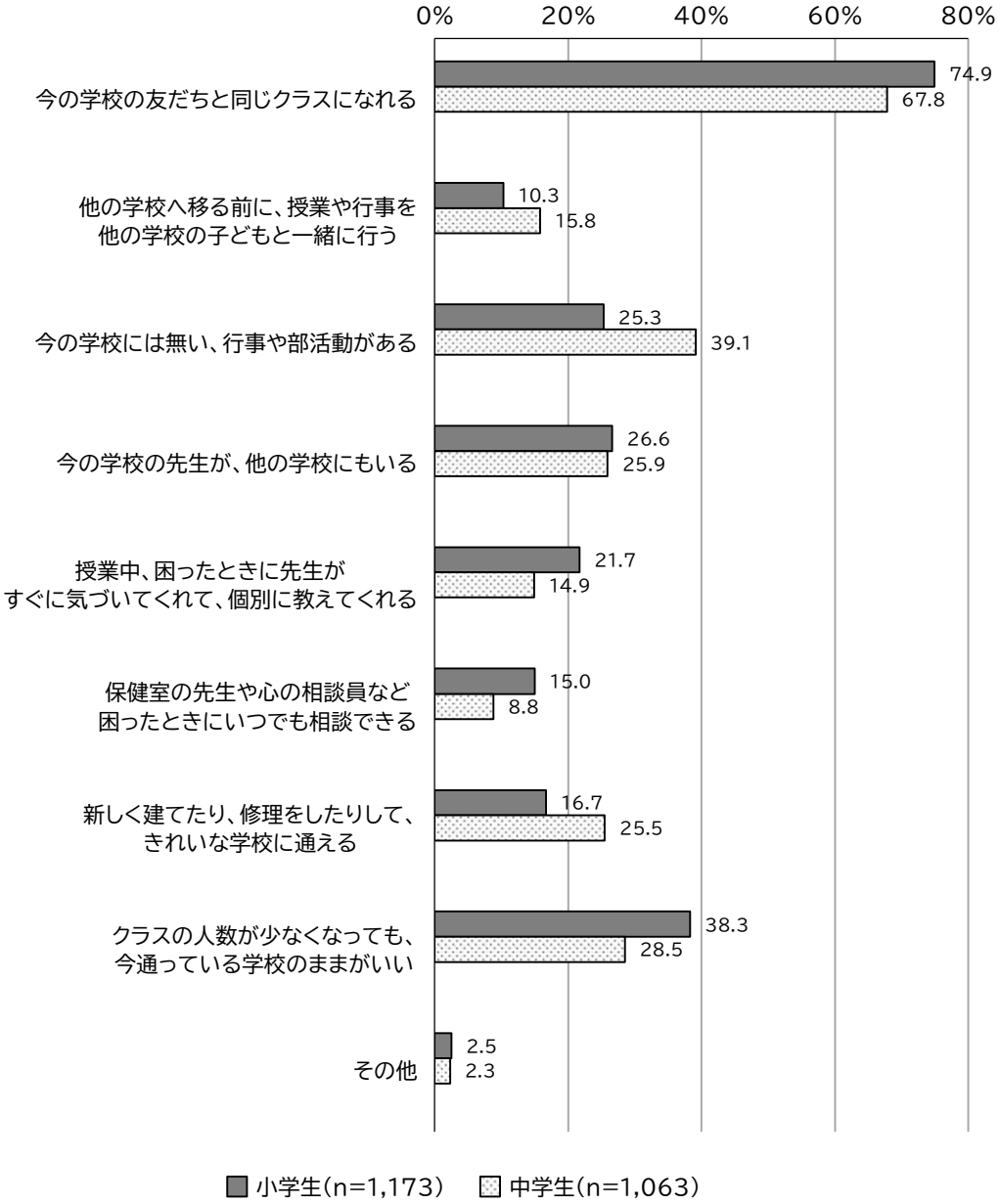
④学校統合の条件（小学生、中学生）

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
問 20	問 22			

【小学生、中学生】

問. 学校全体の子どもの人数が少なくなったとき、全員で他の学校に移るとしたら、あなたは、どのようなことがあれば、他の学校へ行ってもよいですか（通っても良いですか）。〈MA〉

小・中学生ともに「今の学校の友だちと同じクラスになれる」（小学生 74.9%、中学生 67.8%）が最も多い。次いで、小学生では「クラスの人数が少なくなっても今通っている学校のままがいい」が 38.3%、中学生では「今の学校にはない行事や部活動がある」が 39.1%となっている。



⑤学校統合の条件（教員、小中保護者、園保護者）

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
		問 30	問 28	問 13

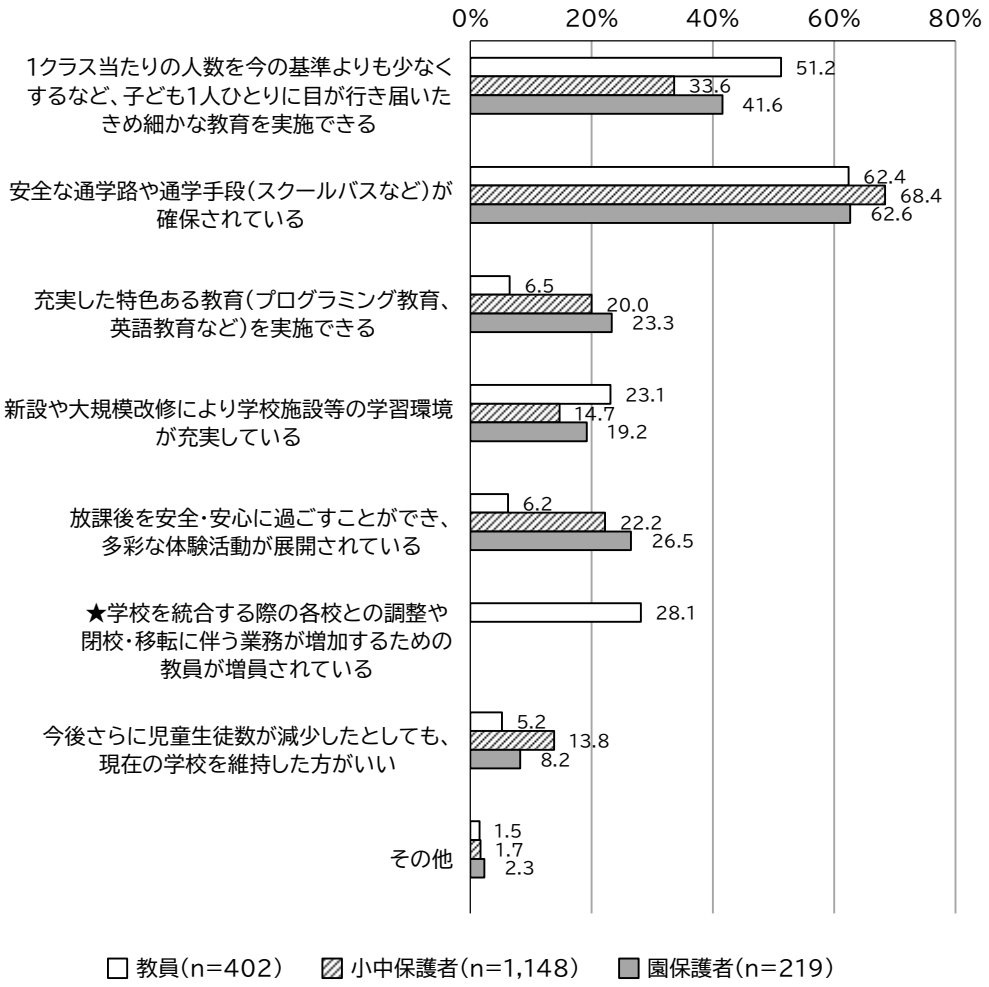
※「①小規模校の対策の必要性」で「必要」「どちらかというと必要」、「どちらかというと不要」を選んだ人

【教員、小中保護者、園保護者】

問．豊田市では、今後中長期的に児童生徒数が減少していくことが見込まれます。子どもたちのよりよい教育環境を整備する手法の一つとして、学校の統合の検討が必要な場合、どのような環境が整っていれば、あなたは、学校が別の学校と統合してもよいと思いますか。〈MA〉

教員、小中保護者、園保護者いずれも「安全な通学路や通学手段（スクールバスなど）が確保されている」が最も多い。次いで「1 クラス当たりの人数を今の基準よりも少なくするなど、子ども１人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育を実施できる」となっており、小中保護者と園保護者に比べ教員の回答の割合が高い。

また、「充実した特色ある教育（プログラミング教育、英語教育など）を実施できる」「放課後を安全・安心に過ごすことができ、多彩な体験活動が展開されている」は教員と比べると、小中保護者と園保護者の回答の割合が高い。



※「★」は、教員にのみ含まれる選択肢となっている

⑥学校統合で重視すること

小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
		問 31	問 29	問 14

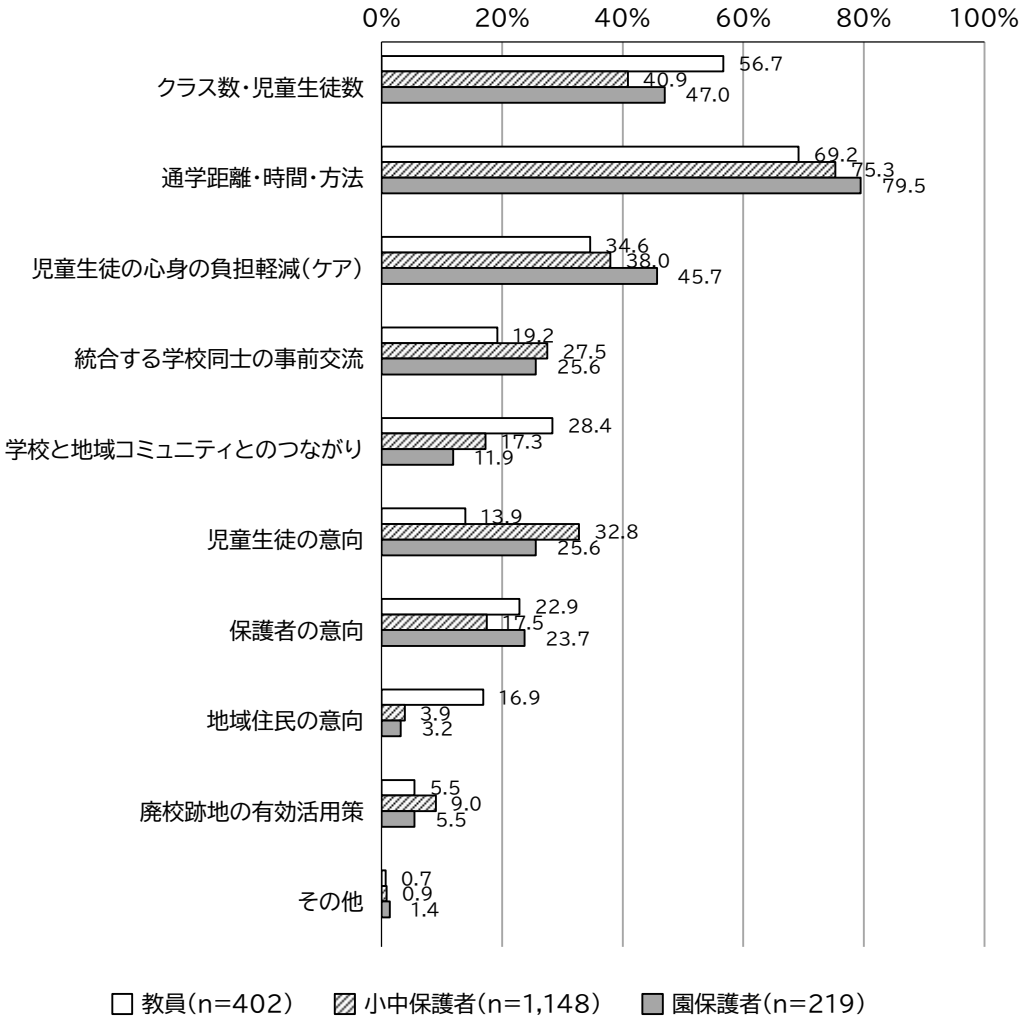
※「①小規模校の対策の必要性」で「必要」「どちらかというと必要」、「どちらかというと不要」を選んだ人

【教員、小中保護者、園保護者】

問．あなたは、学校の統合を検討する場合に、重視すべきことは何だと思いますか。〈MA〉

教員、小中保護者、園保護者いずれも「通学距離・時間・方法」が最も多い。次いで、「クラス数・児童生徒数」となっており、小中保護者と園保護者に比べ教員の回答の割合が高い。

また、「児童生徒の意向」は教員と比べると、小中保護者と園保護者の回答の割合が高い。



⑦ワークショップや意見交換会への参加

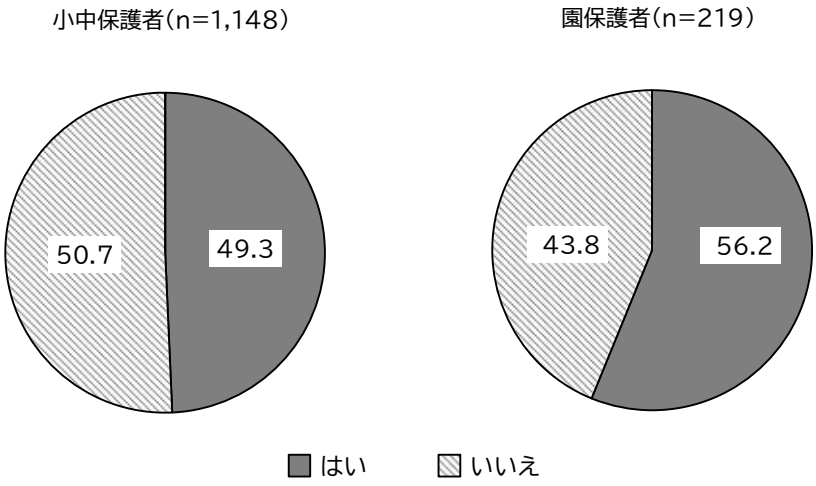
小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
			問 30	問 15

※「①小規模校の対策の必要性」で「必要」「どちらかというと必要」、「どちらかというと不要」を選んだ人

【小中保護者、園保護者】

問．学校の統合を検討する中で、地域のみなさんと一緒にワークショップや意見交換会などを実施した場合に、あなたは、参加したいと思いますか。〈SA〉

小中保護者、園保護者のいずれにおいても「はい」が約半数となっている。



⑧小学校の統合を検討するタイミング

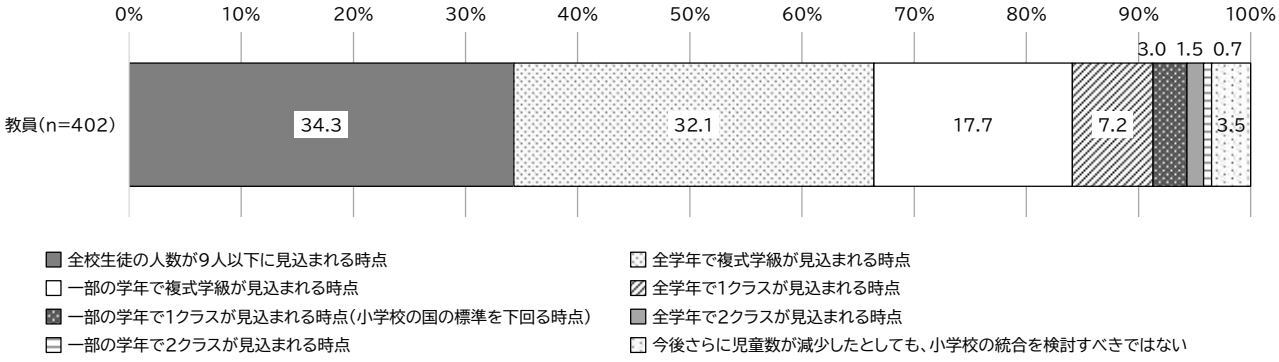
小学生	中学生	教員	小中保護者	園保護者
		問 32		

※「①小規模校の対策の必要性」で「必要」「どちらかというと必要」、「どちらかというと不要」を選んだ人

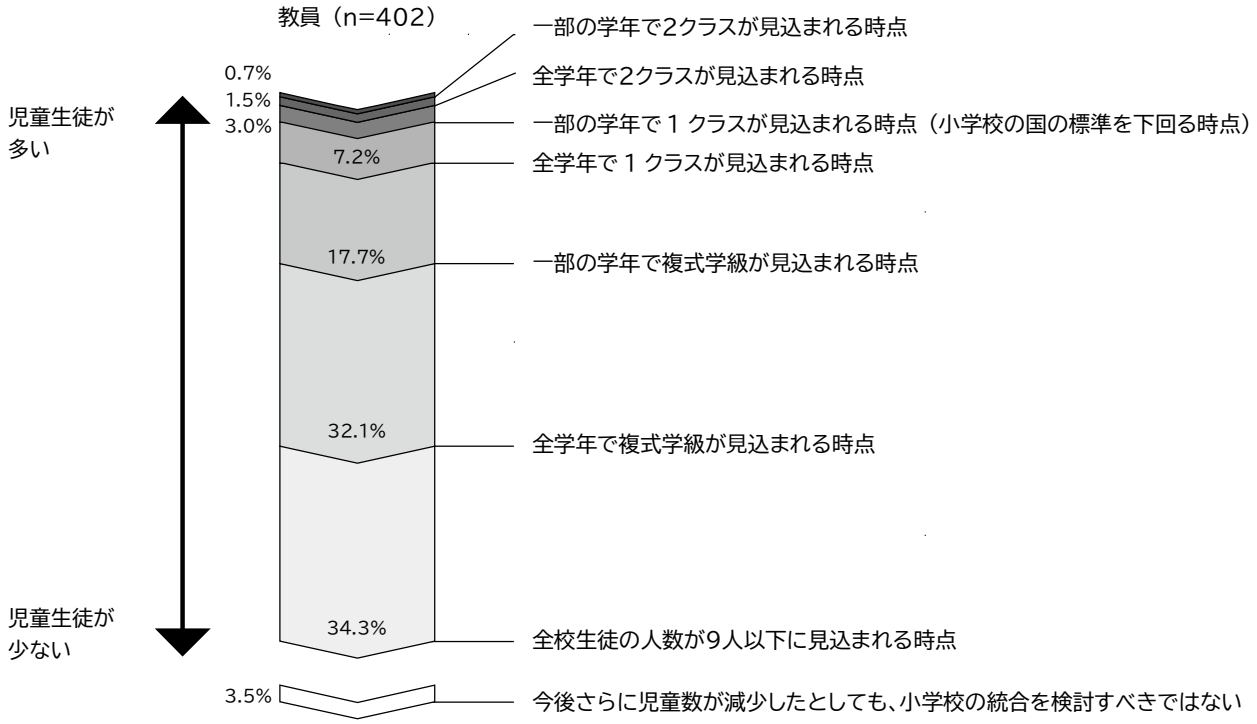
【教員】

問. 小学校の統合を検討する場合の状況について、あなたは、どの時点が適当だと思いますか。（クラス数は特別支援学級を除く。）〈SA〉

統合を検討するタイミング順にみると、教員の 62.2%が「全学年で複式学級が見込まれる時点」か、それより早い段階で検討するのが適当だと考えている。



【統合を検討するタイミング順】



第５章 回答者の属性

１　全体

①通学（予定）/勤務している小学校

(%)	足助	飯野	石畳	五ケ丘	五ケ丘東	稲武	岩倉	追分	大蔵
小学生(n=1,173)	3.8	9.1	5.0	6.0	3.2	2.6	6.4	1.7	0.8
教員(n=324)	3.4	4.3	3.7	0.0	2.5	3.4	3.1	2.8	2.8
小中保護者(n=994)	2.5	7.9	3.1	6.5	3.9	2.6	7.9	1.9	1.3
園保護者(n=245)	2.0	7.3	0.8	6.1	6.9	1.2	6.9	1.2	0.8

(%)	大沼	小渡	小原中部	上鷹見	九久平	幸海	古瀬間	佐切	敷島
小学生(n=1,173)	1.5	1.4	1.6	2.6	9.6	1.7	13.3	1.2	2.2
教員(n=324)	0.0	2.2	3.4	3.4	4.6	3.7	6.5	2.5	2.5
小中保護者(n=994)	1.3	1.3	2.7	3.2	7.2	2.0	10.9	0.9	2.1
園保護者(n=245)	1.6	1.2	0.8	2.9	7.3	0.0	5.7	1.2	0.8

(%)	新盛	滝脇	道慈	巴ケ丘	豊松	中金	則定	萩野	花山
小学生(n=1,173)	1.2	1.4	2.5	2.6	2.1	1.6	1.1	0.9	3.2
教員(n=324)	2.5	2.8	3.1	3.7	3.1	3.1	2.5	2.8	3.4
小中保護者(n=994)	1.4	1.3	2.1	3.1	1.7	1.6	1.4	1.1	4.5
園保護者(n=245)	0.8	1.2	0.4	1.6	2.0	1.2	0.8	0.8	2.9

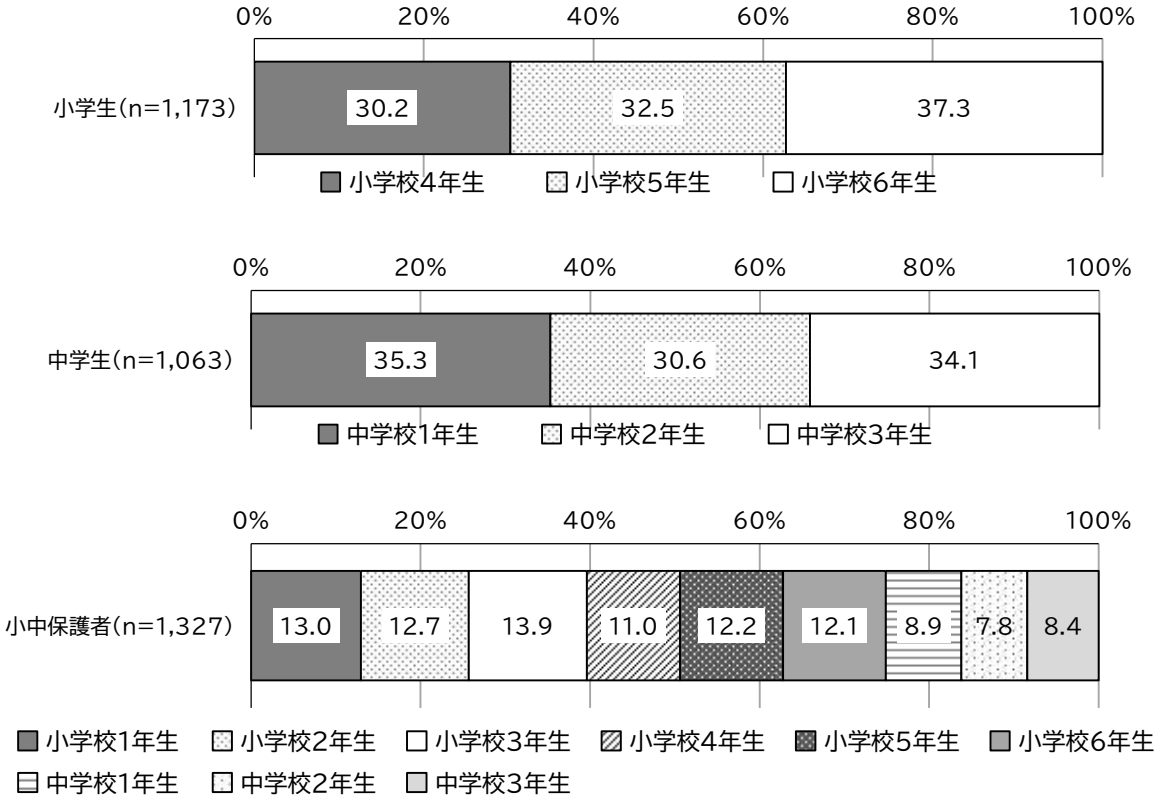
(%)	冷田	東広瀬	本城	御蔵	御作	明和	その他※
小学生(n=1,173)	1.3	4.1	1.3	0.8	1.6	0.7	-
教員(n=324)	3.1	3.7	3.1	2.8	3.1	2.8	-
小中保護者(n=994)	2.0	5.6	1.7	0.9	1.3	0.6	-
園保護者(n=245)	1.2	4.1	2.4	0.4	1.6	1.2	22.0

※園保護者にのみ含まれる選択肢となっている。

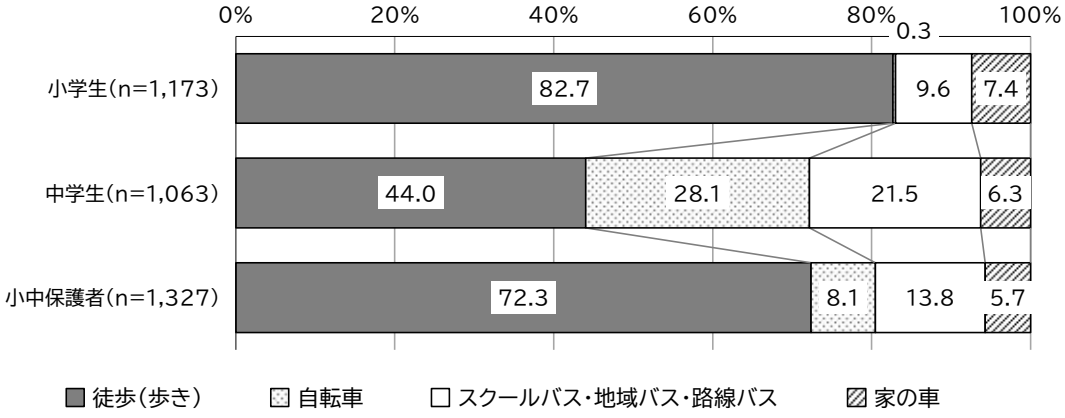
②通学/勤務している中学校

(%)	旭	足助	石野	稲武	小原	下山	藤岡	益富	松平
中学生(n=1,063)	1.0	15.1	7.9	1.4	6.0	6.0	18.8	23.5	20.1
教員(n=111)	9.0	13.5	3.6	7.2	10.8	9.0	14.4	18.0	14.4
小中保護者(n=333)	2.4	15.3	8.1	0.9	7.5	4.8	19.8	23.1	18.0

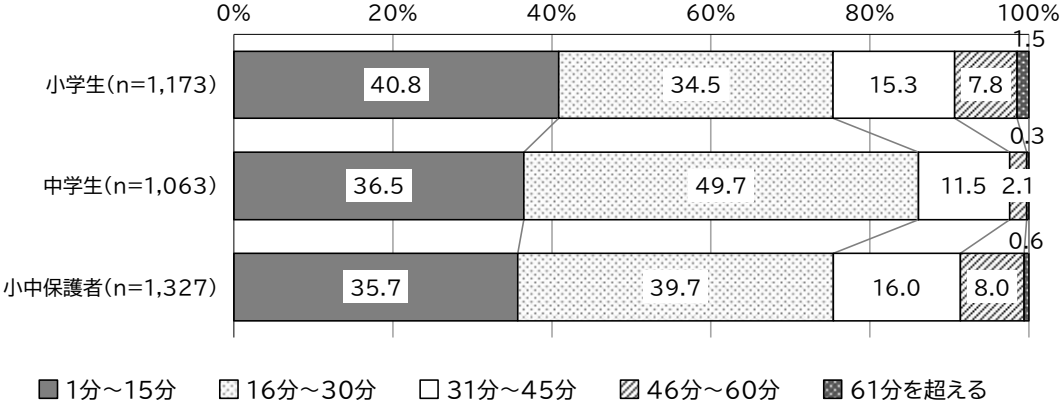
③学年



④通学方法

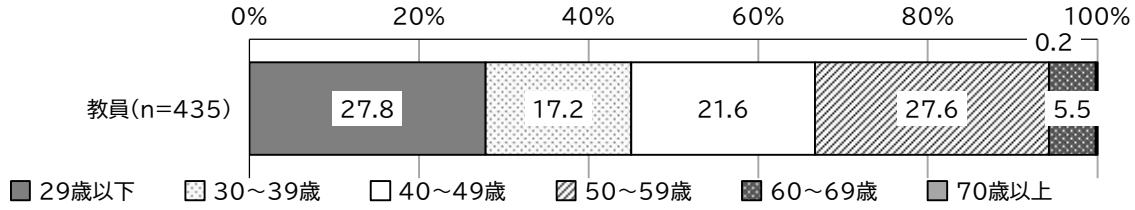


⑤通学時間

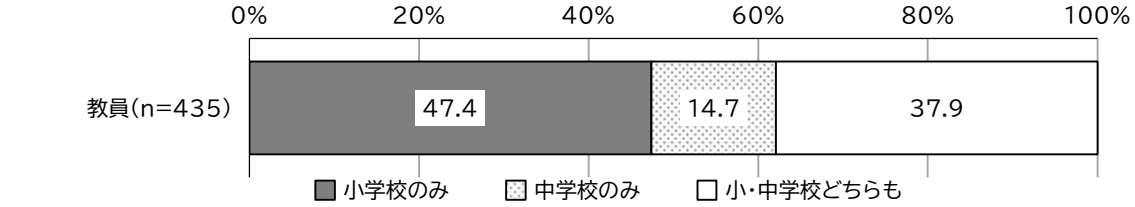


2　教員

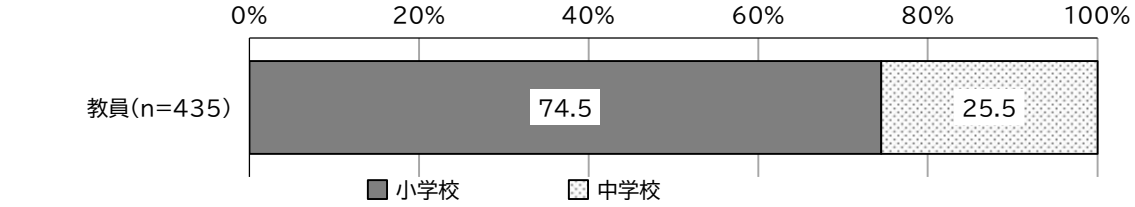
⑥年齢



⑦勤務したことのある学校区分

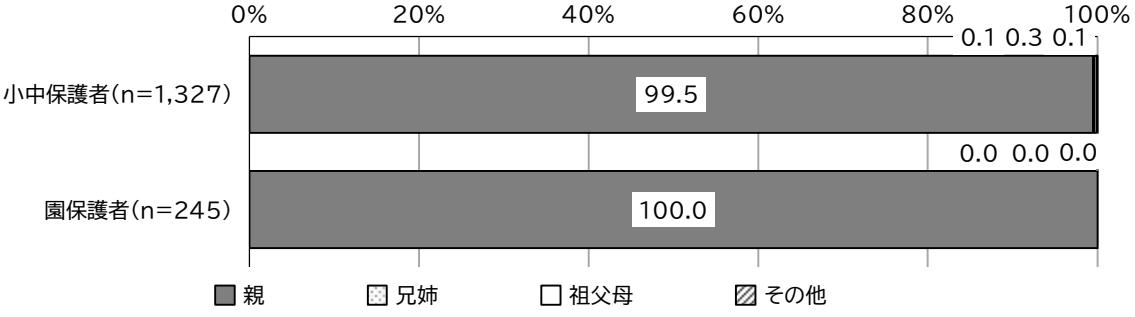


⑧現在勤務している学校区分

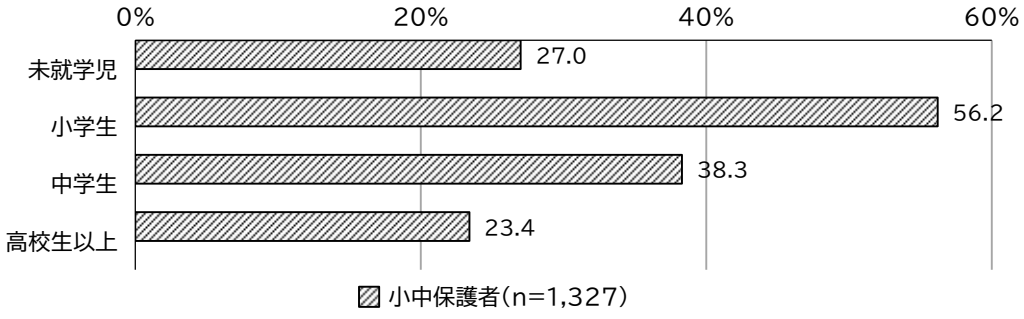


3　保護者

⑨子どもとの続柄



⑩同居の子ども



資料編

小学生用

小中学校の教育環境についてのアンケート調査

アンケート調査へのご協力のおねがい

豊田市では、将来、学校の児童生徒数が少なくなっていきます。学校の主役であるみなさんが、どのような学校で過ごしたらよいか考えるため、みなさんの学校での状況や意見を聞きたいと考えています。このアンケート調査にご協力をおねがいいたします。

令和5年10月

豊田市教育委員会　教育長　山本　浩司

回答には **１２分くらい** かかります。

【回答をするときのおねがい】

1　アンケートは、あなた自身が入力してください。
2　名前を入力しないでください。
3　答えるときは、友だちと相談しないで入力してください。
4　読めない字や意味のわからないところは、先生に質問してください。
5　だれが何を書いたのか、ほかの人に知られることはありませんので、正直に答えてください。
6　学習用タブレットから、回答するインターネットサイトへアクセスしてください。くわしい入力の仕方は裏面を見てください。

この調査を行っているのは、　豊田市教育委員会　教育部　教育政策課　です。
電話：0565-34-6658 / FAX：0565-34-6771 / Eメール：kyouiku@city.toyota.aichi.jp
（電話の場合は、月～金（祝日のぞく）の午前8時30分～午後5時15分）

小学生用

― インターネットでの答え方―

アンケートは令和5年10月31日（火）までに答えてください。

① **学習用タブレットのカメラ機能で二次元コードを読み取ってください。**

【ＵＲＬ】https://www16.webcas.net/form/pub/toyota-edu-survey/school-01

※家でアンケートを回答するときの通信料は、個人での負担になります。

② **下に書いてあるログインＩＤ・パスワードを入力してから、「ログイン」ボタンを押してください。**



【ログインＩＤ】
【パスワード】

※このログインＩＤはインターネット回答のために使用するものであり、だれが回答したか分かるものではありません。
※ほかの人があなたに代わって勝手に回答しないように、ログインＩＤ・パスワードは、ほかの人に教えないでください。

③ **質問ごとに回答するところが表示されます。質問文を読んで、あてはまるものや、自分の気持ちや考えに近いものをえらんで答えてください。**
答えた内容によっては質問の数が変わり、全部の質問が出てこないことがあります。
また、あてはまる答えがない場合は、「そのほか」をえらび、自分の答えを入力してください。



④ **すべての回答の入力が終わったら、これまで回答したページが表示されます。**
その内容でよければ「登録」ボタンを押してください。これで回答はおわりです。



小中学校の教育環境についてのアンケート調査

問1．どの小学校に行っていますか。（１つをえらぶ）

1．足助小学校	10．大沼小学校	19．新盛小学校	28．冷田小学校
2．飯野小学校	11．小渡小学校	20．滝脇小学校	29．東広瀬小学校
3．石畳小学校	12．小原中部小学校	21．道慈小学校	30．本城小学校
4．五ケ丘小学校	13．上鷹見小学校	22．巴ケ丘小学校	31．御蔵小学校
5．五ケ丘東小学校	14．九久平小学校	23．豊松小学校	32．御作小学校
6．稲武小学校	15．幸海小学校	24．中金小学校	33．明和小学校
7．岩倉小学校	16．古瀬間小学校	25．則定小学校	
8．追分小学校	17．佐切小学校	26．萩野小学校	
9．大蔵小学校	18．敷島小学校	27．花山小学校	

問2．あなたは何年生ですか。（１つをえらぶ）

1．小学校４年生	2．小学校５年生	3．小学校６年生

問3．あなたが家から学校まで行く方法を教えてください。（１つをえらぶ）

1．歩き	3．スクールバス・地域バス・ろせんバス
2．自転車	4．家の車

問4．あなたは家から学校まで行くのにどのくらい時間がかかりますか。（１つをえらぶ）

1．1分～15分	4．46分～60分
2．16分～30分	5．61分をこえる
3．31分～45分	

問5．あなたは、学校でどのような力をのばしていきたいですか。（えらぶのは３つまで）

1．生活の中で必要な学力や能力	6．いろいろな考えをもつ人と協力して行動する力
2．自分でやりぬく気持ちやたくましさ	7．思いやりややさしさなどの心
3．将来の目標や夢を持つこと	8．ルールや決まりを守ること
4．一人ひとりのよいところ	9．自分で考え、決める力
5．アイデアを考え、表現する力	10．そのほか（　　）

問6．あなたの学校の先生は、学校で授業中、こまったときすぐに気づいて、あなたに分かるように教えてくれますか。（１つをえらぶ）

1．教えてくれる	3．ときどき教えてくれない
2．ときどき教えてくれる	4．教えてくれない

問7．あなたは、学校の授業や行事などで、自分が中心となって活動できる場がありますか。（１つをえらぶ）

1．よくある	2．ときどきある	3．あまりない	4．ない

問8．あなたは、学校で相手の気持ちを理解したり、自分の気持ちをつたえることができていますか。（１つをえらぶ）

1．できている	3．あまりできていない
2．だいたいできている	4．できていない

問9．あなたは、学校でいろいろな意見や考え方を知ることができていますか。（１つをえらぶ）

1．できている	3．あまりできていない
2．だいたいできている	4．できていない

問10．あなたは、学校の行事、クラブ活動、委員会、遊びなどで、いろいろな種類の活動ができていますか。（１つをえらぶ）

1．できている	3．あまりできていない
2．だいたいできている	4．できていない

問11．あなたは、学校のクラスメイトと楽しく過ごしていますか。（１つをえらぶ）

1．楽しい	3．あまり楽しくない
2．だいたい楽しい	4．楽しくない

問 12. あなたは、学校でどのようなことを学びたいですか。（えらぶのは３つまで）

1．プログラミングなどの ICT 教育	6．実際に見たり、体験する教育
2．外国語教育（英語教育）	7．いろいろな意見や考え方を聞いて、グループで課題に取り組む教育
3．運動・スポーツ	8．小中学生がいっしょに学ぶ教育※
4．音楽、美術等の芸術	9．ちいきの人が教えてくれる教育
5．将来の仕事につながる教育	10．そのほか（　　）

※中学校の先生が小学校で授業を行うことや、小学生と中学生がいっしょに行事をするなど

問 13. あなたは、自分の学校の１クラスの人数について、満足していますか。
（１つをえらぶ）

1．満足	2．ほぼ満足	3．やや不満	4．不満

【問 13 で「2～4」を回答した人に聞きます。】
問 14. あなたは、自分の学校の１クラスの人数について、どのように感じますか。
（１つをえらぶ）

1．もっと多い方がよい	2．もっと少ない方がよい

【すべての人に聞きます。】
問 15. あなたは、１クラスの人数について、どのくらいが良いと思いますか。
（１つをえらぶ）

1．1～9 人	4．30～34 人
2．10～19 人	5．35 人以上
3．20～29 人	

問 16. あなたは、自分の学校の１学年のクラス数について、満足していますか。
（１つをえらぶ）

1．満足	2．ほぼ満足	3．やや不満	4．不満

【問 16 で「2～4」を回答した人に聞きます。】
問 17. あなたは、自分の学校の１学年のクラス数について、どのように感じますか。
（１つをえらぶ）

1．もっと多い方がよい	2．もっと少ない方がよい

【すべての人に聞きます。】
問 18. あなたは、１学年のクラス数について、どのくらいが良いと思いますか。
（１つをえらぶ）

1．複式学級（２学年以上を１クラスにする）	4．３クラス
2．１クラス	5．４クラス以上
3．２クラス	

問 19. あなたは、中学校に進学するとき、クラスの人数やクラス数が小学校のときよりもふえることで、不安に思うことはありますか。（えらぶのは３つまで）

1．授業で分からないことがあっても、先生にすぐに聞けるか、わからない
2．これまで少人数で学んできたため、授業のスピードに対応できるか、わからない
3．なにか問題があったときに、先生に気づかれにくくなりそうで、不安
4．クラスメイトの人数が多く、どのようにかかわればいいか、わからない
5．他の学校出身の子たちとなかよくなれるか、わからない
6．他の学年の子たちとのつながりが少なくなりそうで、不安
7．たくさんの人がいるなかで、自分が中心となって活動できる場がなくなりそう
8．中学校まで１人で行く時間が長く、登下校が不安
9．とくに不安はない
10．そのほか（　　）

問 20. 学校全体の子どもの人数が少なくなったとき、全員で他の学校に移るとしたら、あなたは、どのようなことがあれば、他の学校へ行ってもよいですか。
（えらぶのは３つまで）

1．今の学校の友だちと同じクラスになれる
2．他の学校へ移る前に、授業や行事を他の学校の子どもといっしょに行う
3．今の学校にはない、行事やクラブ活動がある
4．今の学校の先生が、他の学校にもいる
5．授業中、こまったときに先生がすぐに気づいてくれて、自分に分かるように教えてくれる
6．保健室の先生や心の相談員などこまったときにいつでも相談できる
7．新しくたてたり、修理をしたりして、きれいな学校に行ける
8．クラスの人数が少なくなっても、今、行っている学校のままがいい
9．そのほか（　　）

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

中学生用

小中学校の教育環境についてのアンケート調査

アンケート調査へのご協力のお願い

豊田市では、将来、学校の児童生徒数が減っていきます。学校の主役であるみなさんが、どのような学校で過ごしたら良いか考えるため、みなさんの学校での状況や意見を聞きたいと考えています。このアンケート調査にご協力をお願いいたします。

令和５年10月
豊田市教育委員会　教育長　山本　浩司

回答にかかる時間は　**約１５分**　です。

【回答に当たってのお願い】

1　アンケートは、あなた自身が入力してください。
2　氏名を入力しないでください。
3　答えるときは、友だちと相談しないで入力してください。
4　読めない字や意味のわからないところは、先生に質問してください。
5　だれが何を書いたのか、他の人に知られることはありませんので、正直に答えてください。
6　学習用タブレットから、回答するインターネットサイトへアクセスしてください。くわしい入力の仕方は裏面を見てください。

この調査を行っているのは、　豊田市教育委員会　教育部　教育政策課　です。
電話：0565-34-6658 / FAX：0565-34-6771 / Ｅメール：kyouiku@city.toyota.aichi.jp
（電話の場合は、月～金（祝日除く）の午前８時30分～午後５時15分）

中学生用

小中学校の教育環境についてのアンケート調査
― インターネットでの回答手順―

回答の入力期限　令和５年10月31日（火）まで

①　学習用タブレットで二次元コードを読み取り、調査画面にアクセスしてください。

【ＵＲＬ】https://www16.webcas.net/form/pub/toyota-edu-survey/school-02

※家でアンケートを回答するときの通信料は、個人での負担になります。

②　以下のログインＩＤ・パスワードを入力し、ログインしてください。

【ログインＩＤ】
【パスワード】



※このログインＩＤはインターネット回答のために使用するものであり、だれが回答したか分かるものではありません。
※他の人があなたに代わって勝手に回答しないように、ログインＩＤ・パスワードは他の人に教えないでください。

③　質問ごとに回答するところが表示されます。質問文を読んで、該当する回答や、あなたの考えに当てはまるものを選んで答えてください。
回答内容によって、設問数が変わります。答えた内容によっては、すべての設問が表示されない場合があります。
また「その他」を選んだときは、入力するところが表示されますので、具体的な内容を入力してください。

④　すべての回答の入力が終わったら、回答の確認ページが表示されます。その内容でよければ「登録」ボタンを押してください。これで回答は終了です。



小中学校の教育環境についてのアンケート調査

問１．あなたが通っている中学校についてお答えください。（１つを選ぶ）

１．旭中学校	４．稲武中学校	７．藤岡中学校
２．足助中学校	５．小原中学校	８．益富中学校
３．石野中学校	６．下山中学校	９．松平中学校

問２．あなたの学年をお答えください。（１つを選ぶ）

１．中学校１年生	２．中学校２年生	３．中学校３年生

問３．あなたの家から学校までの通学する方法をお答えください。（１つを選ぶ）

１．徒歩（歩き）	３．スクールバス・地域バス・路線バス
２．自転車	４．家の車

問４．あなたの家から学校までの通学時間をお答えください。（１つを選ぶ）

１．１分～15分	４．46分～60分
２．16分～30分	５．61分をこえる
３．31分～45分	

問５．あなたは、学校でどのような力をのばしていきたいですか。（選ぶのは３つまで）

１．基礎的な知識や技能	６．様々な考えをもつ人と協力して行動する力
２．自立心やたくましさ	７．思いやりや優しさなどの心
３．将来の目標や夢を持つこと	８．ルールや決まりを守ること
４．一人ひとりの個性	９．自分で考え、判断する力
５．創造力（アイデア、発想力）	10．その他（　　）

問６．あなたの学校の先生は、学校で授業中、困ったときすぐに気づいて、個別に教えてくれますか。（１つを選ぶ）

１．教えてくれる	３．ときどき教えてくれない
２．ときどき教えてくれる	４．教えてくれない

問７．あなたは、学校の授業や行事などで、自分が中心となって活躍（かつやく）できる場がありますか。（１つを選ぶ）

１．よくある	２．ときどきある	３．あまり無い	４．無い

問８．あなたは、学校で相手の気持ちを理解したり、自分の気持ちを伝えることができていますか。（１つを選ぶ）

１．できている	３．あまりできていない
２．だいたいできている	４．できていない

問９．あなたは、学校でいろいろな意見や考え方を知ることができていますか。（１つを選ぶ）

１．できている	３．あまりできていない
２．だいたいできている	４．できていない

問10．あなたは、学校の行事、部活動、委員会、遊びなどで、いろいろな種類の活動ができていますか。（１つを選ぶ）

１．できている	３．あまりできていない
２．だいたいできている	４．できていない

問11．あなたは、学校のクラスメイトと楽しく過ごしていますか。（１つを選ぶ）

１．楽しい	３．あまり楽しくない
２．だいたい楽しい	４．楽しくない

問12．あなたは、子どもの人数が少ない学校の「良い」と思う点はありますか。（選ぶのは２つまで）

１．授業中、困ったときに先生がすぐに気づいてくれて、個別に教えてくれる
２．友だちがいつも同じで、とても仲良くできる
３．日ごろから他の学年の子たちと接する機会があり、やさしさや思いやりの気持ちを持てる
４．授業や学校行事などで、１人ひとりが活躍（かつやく）できる場がある
５．授業や学校行事などで、いろいろな役割分担を経験できる
６．ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気（ふんいき）の中で勉強ができる
７．特になし
８．その他（　　）

問 13. あなたは、子どもの人数が少ない学校の「良くない」と思う点はありますか。
（選ぶのは２つまで）

1． いろいろな意見や考えにふれる機会が少ない
2． クラス替えがないので、たくさんの友だちをつくることができない
3． 友だちと仲が悪くならないよう、自分の気持ちをはっきり言えないことがある
4． 行事、部活動、委員会、遊びなどでいろいろな種類の活動ができない
5． 清掃活動や学校行事などで、１人ひとりに任される役割が多くて大変
6． １人で通学する時間が長く、登下校が不安
7． 特になし
8． その他（　　）

問 14. あなたは、学校でどのようなことを学びたいですか。（選ぶのは３つまで）

1． プログラミングなどの ICT 教育	6． 実際に見たり、体験する教育
2． 外国語教育（英語教育）	7． いろいろな意見や考え方を聞いて、グループで課題に取り組む教育
3． 運動・スポーツ	8． 小中学生が一緒に学ぶ教育※
4． 音楽、美術等の芸術	9． 地域の人が教えてくれる教育
5． 将来の仕事につながる教育	10． その他（　　）

※中学校の先生が小学校で授業を行うことや、小学生と中学生が一緒に行事をするなど

問 15. あなたは、自分の学校の１クラスの人数について、満足していますか。
（１つを選ぶ）

1． 満足	2． ほぼ満足	3． やや不満	4． 不満

【問 15 で「２～４」を回答した方に聞きます。】
問 16. あなたは、自分の学校の１クラスの人数について、どのように感じますか。
（１つを選ぶ）

1． もっと多い方が良い	2． もっと少ない方が良い

【すべての方に聞きます。】
問 17. あなたは、１クラスの人数について、どのくらいが良いと思いますか。
（１つを選ぶ）

1． 1～9 人	4． 30～34 人
2． 10～19 人	5． 35 人以上
3． 20～29 人	

問 18. あなたは、自分の学校の１学年のクラス数について、満足していますか。
（１つを選ぶ）

1． 満足	2． ほぼ満足	3． やや不満	4． 不満

【問 18 で「２～４」を回答した方に伺います。】
問 19. あなたは、自分の学校の１学年のクラス数について、どのように感じますか。
（１つを選ぶ）

1． もっと多い方が良い	2． もっと少ない方が良い

【すべての方に聞きます。】
問 20. あなたは、１学年のクラス数について、どのくらいが良いと思いますか。
（１つを選ぶ）

1． 複式学級（２学年以上を１クラスにする）	5． ４クラス
2． １クラス	6． ５クラス
3． ２クラス	7． ６クラス
4． ３クラス	8． ７クラス以上

問 21. あなたは、中学校に進学したとき、クラスの人数や学級数が小学校のときよりも増えることで、不安に思うことはありましたか。（選ぶのは３つまで）

1． 授業で分からないことがあっても、先生にすぐに聞けるか、わからなかった
2． これまで少人数で学んできたため、授業のスピードに対応できるか、わからなかった
3． 何か問題があったときに、先生に気づかれにくくなりそうで、不安だった
4． クラスメイトの人数が多く、どのように接すればよいか、わからなかった
5． 他の学校出身の子たちと仲良くなれるか、わからなかった
6． 他の学年の子たちとのつながりが少なくなりそうで、不安だった
7． たくさんの人がいるなかで、自分の活躍（かつやく）の場がなくなりそうだった
8． 中学校まで１人で通学する時間が長く、登下校が不安だった
9． 特に不安はなかった
10． その他（　　）

問 22. 学校全体の子どもの人数が少なくなったとき、全員で他の学校に移るとしたら、あなたは、どのようなことがあれば、他の学校へ通っても良いですか。
（選ぶのは３つまで）

1． 今の学校の友だちと同じクラスになれる
2． 他の学校へ移る前に、授業や行事を他の学校の子どもと一緒に行う
3． 今の学校には無い、行事や部活動がある
4． 今の学校の先生が、他の学校にもいる
5． 授業中、困ったときに先生がすぐに気づいてくれて、個別に教えてくれる
6． 保健室の先生や心の相談員など困ったときにいつでも相談できる
7． 新しく建てたり、修理をしたりして、きれいな学校に通える
8． クラスの人数が少なくなっても、今通っている学校のままがいい
9． その他（　　）

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

教員用

小中学校の教育環境についてのアンケート調査【回答時間の目安 約 15 分】

アンケート調査へのご協力のお願い

日頃は、豊田市の教育行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
豊田市では、今後中長期的に児童生徒数が減少していくことが見込まれており、小中学校の小規模化が進んでいきます。学校の主役である子どもたちが、どのような教育環境で過ごすべきか検討するため、教員の皆さまと一緒に考えていく基礎資料として、アンケート調査のご協力をお願いいたします。

令和５年 10 月
豊田市教育委員会　教育長　山本　浩司

1　調査の目的

「学校規模の適正化に関する基本方針（平成 20 年３月策定）」の改定に向けて、子どもたちのより良い教育環境を検討するための調査・研究資料とすることを目的としています。このアンケート調査の結果をもって、直ちに学校の統合が進むものではありません。

2　調査の対象者

旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡、石野、益富、松平中学校区にある公立小中学校の教員（本務者）
※学校全体で６学級（特別支援学級を除く）以下の小学校が２校以上ある中学校区を対象としています。（令和５年５月時点）

3　調査の取扱い

■ご回答は無記名です。
■インターネット回答者が特定できないよう、調査の対象者とログイン ID は紐づけることなく、ランダムに設定しています。
■回答していただいた内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

4　回答に当たってのお願い

■設問中の「学校」とは、特に断りがなければ「小中学校」を指します。

5　調査票の入力期限

■学習用タブレットやスマートフォン等から回答フォームへアクセスいただき、ログイン ID 及びパスワードを入力の上、**令和５年 10 月 31 日（火）**までに、ご回答ください。
■ログイン ID 及びパスワード、詳しい操作方法は裏面をご覧ください。

<問合せ先>
豊田市教育委員会　教育部　教育政策課
電話：0565-34-6658 / FAX：0565-34-6771 / E メール：kyouiku@city.toyota.aichi.jp
（電話の場合は、月～金（祝日除く）の午前８時 30 分～午後５時 15 分）

教員用

小中学校の教育環境についてのアンケート調査
― インターネットでの回答手順―

回答の入力期限　令和５年 10 月 31 日（火）まで

① 学習用タブレットやスマートフォン、パソコン等でＵＲＬを入力するか、二次元コードを読み取り、調査画面にアクセスしてください。

【ＵＲＬ】https://www16.webcas.net/form/pub/toyota-edu-survey/school-03

※学習用タブレットやスマートフォン、パソコン等の通信料は、利用者様のご負担となります。

② 以下のログインＩＤ・パスワードを入力し、ログインしてください。

【ログインＩＤ】
【パスワード】



※このログインＩＤはインターネット回答のために使用するものであり、回答者個人を特定するものではありません。
※なりすましによる回答を防ぐため、ログインＩＤ・パスワードは他の人に教えないでください。

③ 調査項目ごとに回答フォームが表示されます。質問文を読んで、該当する選択肢や、あなたの考えに当てはまるものを選んで回答してください。
回答内容によって、設問数が変わります。お答えいただいた内容によっては、すべての設問が表示されない場合があります。
また「その他」を選択された場合は、入力欄が表示されますので、可能な範囲で具体的な内容を入力してください。

④ すべての回答の入力が終わりましたら、回答の確認ページが表示されます。その内容でよろしければ「登録」ボタンを押してください。これで回答は終了です。



小中学校の教育環境についてのアンケート調査

冒頭【回答をする前にご覧ください】
・設問中の「学校」とは、特に断りがなければ「小中学校」を指します。

問１．あなたの年齢についてお答えください。（１つを選択）

１．29 歳以下	３．40～49 歳	５．60～69 歳
２．30～39 歳	４．50～59 歳	６．70 歳以上

問２．あなたがこれまでに勤務したことのある学校区分をお答えください。（１つを選択）

１．小学校のみ	２．中学校のみ	３．小・中学校どちらも

問３．あなたの現在の勤務先についてお答えください。（１つを選択）

１．小学校　⇒　問４へ	２．中学校　⇒　問５へ

【小学校にお勤めの方にお尋ねします。】
問４．あなたの現在の勤務先の小学校についてお答えください。（１つを選択）

１．足助小学校	10．大沼小学校	19．新盛小学校	28．冷田小学校
２．飯野小学校	11．小渡小学校	20．滝脇小学校	29．東広瀬小学校
３．石雲小学校	12．小原中部小学校	21．道慈小学校	30．本城小学校
４．五ケ丘小学校	13．上鷹見小学校	22．巴ケ丘小学校	31．御蔵小学校
５．五ケ丘東小学校	14．九久平小学校	23．豊松小学校	32．御作小学校
６．稲武小学校	15．幸海小学校	24．中金小学校	33．明和小学校
７．岩倉小学校	16．古瀬間小学校	25．則定小学校	
８．追分小学校	17．佐切小学校	26．萩野小学校	
９．大蔵小学校	18．敷島小学校	27．花山小学校	

【中学校にお勤めの方にお尋ねします。】
問５．あなたの現在の勤務先の中学校についてお答えください。（１つを選択）

１．旭中学校	４．稲武中学校	７．藤岡中学校
２．足助中学校	５．小原中学校	８．益富中学校
３．石野中学校	６．下山中学校	９．松平中学校

【すべての方にお尋ねします。】
問６．あなたは、学校が児童生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があると思いますか。（３つまで選択可）

１．基礎的な知識や技能	６．様々な考えをもつ人と協力して行動する力
２．自立心やたくましさ	７．思いやりや優しさなどの心
３．生きる指針や夢	８．ルールや決まりを守ること
４．一人ひとりの個性	９．自分で考え、判断する力
５．創造力（アイデア、発想力）	10．その他（　　）

問７．あなたは、自分が勤務する学校での「児童生徒１人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育」について、満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

問８．あなたは、自分が勤務する学校での「児童生徒１人ひとりの活躍や登場の機会」について、満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

問９．あなたは、自分が勤務する学校での「児童生徒が集団の中で身に付けるコミュニケーション能力の習得」について、満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

問 10．あなたは、自分が勤務する学校での「児童生徒が多様な意見や考え方に触れる機会」について、満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

問 11．あなたは、自分が勤務する学校での「学校行事や部活動などの集団活動の教育機会」について、満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

問 12．あなたは、自分が担任するクラスの児童生徒の人間関係で、人数が少ないことによる困り事はありますか。（１つを選択）※担任でない場合は、小学校に勤務する人は６年１組、中学校に勤務する人は３年１組を想定して答えてください。

１．よくある	２．ときどきある	３．あまり無い	４．無い

問 13. あなたは、豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとよいと思いますか。（3 つまで選択可）

1． プログラミングなどの ICT 教育	6． 体験を重視した教育
2． 外国語教育（英語教育）	7． いろいろな意見や考え方を聞いて、グループで課題に取り組む教育
3． 運動・スポーツ	8． 小中学校が連携した教育※
4． 音楽、美術等の芸術	9． 地域と連携した教育
5． 将来の職業を意識したキャリア教育	10． その他（　　）

※中学校の先生が小学校で授業を実施したり、小学生と中学生が一緒に行事をするなど

問 14. あなたは、自分が担任するクラス規模（1 クラスの人数）に満足していますか。（1 つを選択）※担任でない場合は、小学校に勤務する人は 6 年 1 組、中学校に勤務する人は 3 年 1 組を想定して答えてください。

1． 満足	2． ほぼ満足	3． やや不満	4． 不満

【問 14 で「2～4」を回答した方へお尋ねします。】

問 15. あなたは、自分が担任するクラス規模（1 クラスの人数）について、どのように感じますか。（1 つを選択）※担任でない場合は、小学校に勤務する人は 6 年 1 組、中学校に勤務する人は 3 年 1 組を想定して答えてください。

1． もっと多い方が良い	2． もっと少ない方が良い

【小学校にお勤めの方にお尋ねします。】

問 16. あなたは、小学校のクラス規模※（1 クラスの人数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。（1 つを選択）

1． 1～9 人	4． 30～34 人
2． 10～19 人	5． 35 人以上
3． 20～29 人	

※1 クラスの人数は、小学 1～3 年生が 30 人、小学 4、5 年生、中学 1～3 年生が 35 人を豊田市の標準としています。小学 1～3 年生で 30 人学級を行っていない場合や、小学 6 年生で 35 人を超えるクラスがある場合は、少人数指導が維持できるように、非常勤講師やサポートティーチャーを配置しています。（令和 5 年度時点）

問 17. 問 16 の回答の理由として、当てはまるものをお選びください。（3 つまで選択可）

1． 児童生徒 1 人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる
2． 児童生徒同士の人間関係が深まりやすい
3． 児童生徒の異学年間の交流が生まれやすく、下級生の子たちと接するときに、やさしさや思いやりの気持ちを持てる
4． 児童生徒 1 人ひとりの意見や発表できる機会が多くなる
5． 集団内において児童生徒がいろいろな役割分担を経験できる
6． 運動場や体育館、特別教室、教材備品など、児童生徒が余裕を持って使える
7． 児童生徒の人間関係が固定されず、多くの友人をつくることができる
8． 集団の中で児童生徒がコミュニケーション能力を身に付けやすい
9． 児童生徒が多様な意見や考え方に触れることが多くなる
10． 行事、部活動、委員会、スポーツ、遊びなど多様な種類の活動が体験できる
11． 児童生徒が切磋琢磨して学習や運動ができ、能力向上につながる
12． その他（　　）

【中学校にお勤めの方にお尋ねします。】

問 18. あなたは、中学校のクラス規模※（1 クラスの人数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。（1 つを選択）

1． 1～9 人	4． 30～34 人
2． 10～19 人	5． 35 人以上
3． 20～29 人	

※1 クラスの人数は、小学 1～3 年生が 30 人、小学 4、5 年生、中学 1～3 年生が 35 人を豊田市の標準としています。小学 1～3 年生で 30 人学級を行っていない場合や、小学 6 年生で 35 人を超えるクラスがある場合は、少人数指導が維持できるように、非常勤講師やサポートティーチャーを配置しています。（令和 5 年度時点）

問 19. 問 18 の回答の理由として、当てはまるものをお選びください。（3 つまで選択可）

1． 児童生徒 1 人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる
2． 児童生徒同士の人間関係が深まりやすい
3． 児童生徒の異学年間の交流が生まれやすく、下級生の子たちと接するときに、やさしさや思いやりの気持ちを持てる
4． 児童生徒 1 人ひとりの意見や発表できる機会が多くなる
5． 集団内において児童生徒がいろいろな役割分担を経験できる
6． 運動場や体育館、特別教室、教材備品など、児童生徒が余裕を持って使える
7． 児童生徒の人間関係が固定されず、多くの友人をつくることができる
8． 集団の中で児童生徒がコミュニケーション能力を身に付けやすい
9． 児童生徒が多様な意見や考え方に触れることが多くなる
10． 行事、部活動、委員会、スポーツ、遊びなど多様な種類の活動が体験できる
11． 児童生徒が切磋琢磨して学習や運動ができ、能力向上につながる
12． その他（　　）

【すべての方にお尋ねします。】

問 20. あなたは、自分が勤務する学校の学校規模（1 学年のクラス数）に満足していますか。（1 つを選択）

1． 満足	2． ほぼ満足	3． やや不満	4． 不満

【問 20 で「2～4」を回答した方へお尋ねします。】

問 21. あなたは、自分が勤務する学校の学校規模（1 学年のクラス数）について、どのように感じますか。（1 つを選択）

1． もっと多い方が良い	2． もっと少ない方が良い

【小学校にお勤めの方にお尋ねします。】

問 22. あなたは、小学校の学校規模※1（1 学年のクラス数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。（1 つを選択）

1． 複式学級※2（2 学年以上を 1 クラスにする）	4． 3 クラス
2． 1 クラス	5． 4 クラス以上
3． 2 クラス	

※1 学校規模について、小学校は 1 学年当たり 2～3 クラスを国の標準としています。
※2 複式学級の愛知県の基準は、原則、小学校 1・2 学年で 7 人以下、3・4 学年、5・6 学年で 14 人以下となるときです。

【中学校にお勤めの方にお尋ねします。】

問 23. あなたは、中学校の学校規模※1（1 学年のクラス数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。（1 つを選択）

1． 複式学級※2（2 学年以上を 1 クラスにする）	5． 4 クラス
2． 1 クラス	6． 5 クラス
3． 2 クラス	7． 6 クラス
4． 3 クラス	8． 7 クラス以上

※1 学校規模について、中学校は 1 学年当たり 4～6 クラスを国の標準としています。
※2 複式学級の愛知県の基準は、原則、中学校 2 学年で 8 人以下となるときです。

【すべての方にお尋ねします。】

問 24. あなたは、学校のクラス替えの必要性について、どう思いますか。（1 つを選択）

1． 必要	3． どちらかというと不要
2． どちらかというと必要	4． 不要

【問 24 で「1～2」を回答した方へお尋ねします。】

問 25. 問 24 の回答の理由として、当てはまるものをお選びください。（2 つまで選択可）

1． 児童生徒同士や児童生徒と教員との人間関係に配慮したクラス編成ができる
2． 児童生徒が多様な意見や考え方に触れることが多くなる
3． 児童生徒に新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる
4． クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる
5． クラス同士が切磋琢磨する環境をつくることができる
6． その他（　　）

【すべての方にお尋ねします。】

問 26. あなたは、小規模校※の対策（例：通学する学校を自由に選択、学校の統合等）は、必要だと思いますか。（1 つを選択）

1． 必要	3． どちらかというと不要
2． どちらかというと必要	4． 不要

※ここでは、学校全体のクラス数が、11 クラス以下になる学校を小規模校としています。

【問 26 で「1～2」を回答した方へお尋ねします。】

問 27. 小規模校の対策が「必要」「どちらかというと必要」と思う理由（学習面・生活面）として、当てはまるものをお選びください。（3つまで選択可）

1. 児童生徒同士や児童生徒と教員との人間関係に配慮したクラス編成ができない
2. 児童生徒の競争意識が薄くなりやすい
3. 友だち関係がいつも同じで、友人間に序列ができてしまう
4. 集団の中で児童生徒がコミュニケーション能力を身に付けにくい
5. 児童生徒が多様な意見や考え方に触れる機会が少ない
6. 集団学習、集団活動、学校行事、部活動などに制約が生じる
7. 男女比の偏りが生じやすい
8. 協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる
9. 生徒指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける
10. 登下校が 1 人になるなど、安全面で心配が生じる
11. その他（　　）

【問 26 で「1～2」を回答した方へお尋ねします。】

問 28. 小規模校の対策が「必要」「どちらかというと必要」と思う理由（学校運営面）として、当てはまるものをお選びください。（3つまで選択可）

1. 経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置が困難となる
2. ティーム・ティーチングや習熟度別指導が実施できなかったり、免許外指導の教科が生まれる可能性がある
3. 児童生徒への多面的な評価や多様な価値観に触れさせる機会が減る可能性がある
4. 教職員 1 人当たりの校務や行事に関わる負担が重い
5. 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等について、相談、研究、協力、切磋琢磨できない
6. 複式学級の場合、教員に特別な指導技術が求められる
7. 平日の校外研修や出張に参加しにくかったり、有給休暇の取得が難しい
8. 教員不足が解消できる
9. PTA 活動において、保護者の負担が多い
10. その他（　　）

【問 26 で「1～2」を回答した方へお尋ねします。】

問 29. 児童生徒数が少ない小規模校対策として、どのような方法が考えられますか。（2つまで選択可）

1. 他校との合同授業の実施
2. ICT を活用した遠隔授業の実施
3. 市内のどこでも、通学する学校を自由に選べる（スクールバス無し）
4. 学校の統合を検討する
5. 小中一貫校等、新しい学校形態を検討する
6. 交流館等学校以外の施設と複合化し、新しい学校形態を検討する
7. その他（　　）

【問 26 で「1～3」を回答した方へお尋ねします。】

問 30. 豊田市では、今後中長期的に児童生徒数が減少していくことが見込まれます。子どもたちのよりよい教育環境を整備する手法の一つとして、学校の統合の検討が必要な場合、どのような環境が整っていれば、あなたは、学校が別の学校と統合してもよいと思いますか。（2つまで選択可）

1. 1クラス当たりの人数を今の基準よりも少なくするなど、子ども 1 人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育を実施できる
2. 安全な通学路や通学手段（スクールバスなど）が確保されている
3. 充実した特色ある教育（プログラミング教育、英語教育など）を実施できる
4. 新設や大規模改修により学校施設等の学習環境が充実している
5. 放課後を安全・安心に過ごすことができ、多彩な体験活動が展開されている
6. 学校を統合する際の各校との調整や閉校・移転に伴う業務が増加するための教員が増員されている
7. 今後さらに児童生徒数が減少したとしても、現在の学校を維持した方がいい
8. その他（　　）

【問 26 で「1～3」を回答した方へお尋ねします。】

問 31. あなたは、学校の統合を検討する場合に、重視すべきことは何だと思いますか。（3つまで選択可）

1. クラス数・児童生徒数
2. 通学距離・時間・方法
3. 児童生徒の心身の負担軽減（ケア）
4. 統合する学校同士の事前交流
5. 学校と地域コミュニティとのつながり
6. 児童生徒の意向
7. 保護者の意向
8. 地域住民の意向
9. 廃校跡地の有効活用策
10. その他（　　）

【問 26 で「1～3」を回答した方へお尋ねします。】

問 32. 小学校の統合を検討する場合の状況について、あなたは、どの時点が適当だと思いますか。（1つを選択。クラス数は特別支援学級を除く。）

1. 全校生徒の人数が 9 人以下に見込まれる時点
2. 全学年で複式学級が見込まれる時点
3. 一部の学年で複式学級が見込まれる時点
4. 全学年で 1 クラスが見込まれる時点
5. 一部の学年で 1 クラスが見込まれる時点（小学校の国の標準を下回る時点）
6. 全学年で 2 クラスが見込まれる時点
7. 一部の学年で 2 クラスが見込まれる時点
8. 今後さらに児童数が減少したとしても、小学校の統合を検討すべきではない

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

小中学校保護者用

小中学校の教育環境についてのアンケート調査【回答時間の目安 約15分】

アンケート調査へのご協力のお願い

日頃は、豊田市の教育行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
豊田市では、今後中長期的に児童生徒数が減少していくことが見込まれており、小中学校の小規模化が進んでいきます。学校の主役である子どもたちが、どのような教育環境で過ごすべきか検討するため、保護者の皆さまと一緒に考えていく基礎資料として、アンケート調査のご協力をお願いいたします。

令和５年10月
豊田市教育委員会　教育長　山本　浩司

1　調査の目的

「学校規模の適正化に関する基本方針（平成20年3月策定）」の改定に向けて、子どもたちのより良い教育環境を検討するための調査・研究資料とすることを目的としています。このアンケート調査の結果をもって、直ちに学校の統合が進むものではありません。

2　調査の対象者

旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡、石野、益富、松平中学校区にある公立小中学校の保護者
※学校全体で６学級（特別支援学級を除く）以下の小学校が２校以上ある中学校区を対象としています。（令和５年５月時点）

3　調査の取扱い

■ご回答は無記名です。
■インターネット回答者が特定できないよう、調査の対象者とログインIDは紐づけることなく、ランダムに設定しています。
■回答していただいた内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

4　回答に当たってのお願い

■小学校、中学校の両方にお子さんが通われている場合は、小学生のお子さんについてのみご回答ください。同じ学校に複数のお子さんがいる場合は、小学生の１番下のお子さん、もしくは、中学生の１番下のお子さんを、この調査票の「お子さん」として回答してください。保護者全員の一致した意見でなくても結構です。
■設問中の「学校」とは、お子さんが通う小中学校を指します。

5　調査票の入力期限

■学習用タブレットやスマートフォン等から回答フォームへアクセスいただき、ログインID及びパスワードを入力の上、**令和５年10月31日（火）**までに、ご回答ください。
■ログインID及びパスワード、詳しい操作方法は裏面をご覧ください。

<問合せ先>
豊田市教育委員会　教育部　教育政策課
電話：0565-34-6658 / FAX：0565-34-6771 / Eメール：kyouiku@city.toyota.aichi.jp
（電話の場合は、月～金（祝日除く）の午前８時30分～午後５時15分）

小中学校保護者用

小中学校の教育環境についてのアンケート調査
― インターネットでの回答手順―

回答の入力期限　令和５年10月31日（火）まで

① 学習用タブレットやスマートフォン、パソコン等でＵＲＬを入力するか、二次元コードを読み取り、調査画面にアクセスしてください。

【ＵＲＬ】 https://www16.webcas.net/form/pub/toyota-edu-survey/school-04

※学習用タブレットやスマートフォン、パソコン等の通信料は、利用者様のご負担となります。

② 以下のログインＩＤ・パスワードを入力し、ログインしてください。

【ログインＩＤ】
【パスワード】



※このログインＩＤはインターネット回答のために使用するものであり、回答者個人を特定するものではありません。
※なりすましによる回答を防ぐため、ログインＩＤ・パスワードは他の人に教えないでください。

③ 調査項目ごとに回答フォームが表示されます。質問文を読んで、該当する選択肢や、あなたの考えに当てはまるものを選んで回答してください。
回答内容によって、設問数が変わります。お答えいただいた内容によっては、すべての設問が表示されない場合があります。
また「その他」を選択された場合は、入力欄が表示されますので、可能な範囲で具体的な内容を入力してください。

④ すべての回答の入力が終わりましたら、回答の確認ページが表示されます。その内容でよろしければ「登録」ボタンを押してください。これで回答は終了です。



小中学校の教育環境についてのアンケート調査

冒頭【回答をする前にご覧ください】
・小学校、中学校の両方にお子さんが通われている場合は、小学生のお子さんについてのみご回答ください。同じ学校に複数のお子さんがいる場合は、小学生の１番下のお子さん、もしくは、中学生の１番下のお子さんを、この調査票の「お子さん」として回答してください。保護者全員の一致した意見でなくても結構です。
・設問中の「学校」とは、「お子さん」が通う小中学校を指します。

問１．お子さんとの続柄についてお答えください。（１つを選択）

１．親	２．兄姉	３．祖父母	４．その他（　　）

問２．お子さんの学年についてお答えください。（１つを選択）

１．小学校１年生	４．小学校４年生	７．中学校１年生
２．小学校２年生	５．小学校５年生	８．中学校２年生
３．小学校３年生	６．小学校６年生	９．中学校３年生

【問２で「１～６」（小学生）を回答した方へお尋ねします。】
問３．お子さんが通っている小学校についてお答えください。（１つを選択）

１．足助小学校	10．大沼小学校	19．新盛小学校	28．冷田小学校
２．飯野小学校	11．小渡小学校	20．滝脇小学校	29．東広瀬小学校
３．石畳小学校	12．小原中部小学校	21．道慈小学校	30．本城小学校
４．五ケ丘小学校	13．上鷹見小学校	22．巴ケ丘小学校	31．御蔵小学校
５．五ケ丘東小学校	14．九久平小学校	23．豊松小学校	32．御作小学校
６．稲武小学校	15．幸海小学校	24．中金小学校	33．明和小学校
７．岩倉小学校	16．古瀬間小学校	25．則定小学校	
８．追分小学校	17．佐切小学校	26．萩野小学校	
９．大蔵小学校	18．敷島小学校	27．花山小学校	

【問２で「７～９」（中学生）を回答した方へお尋ねします。】
問４．お子さんが通っている中学校についてお答えください。（１つを選択）

１．旭中学校	４．稲武中学校	７．藤岡中学校
２．足助中学校	５．小原中学校	８．益富中学校
３．石野中学校	６．下山中学校	９．松平中学校

【すべての方にお尋ねします。】
問５．お子さんの家から学校まで通学する方法をお答えください。（１つを選択）

１．徒歩（歩き）	３．スクールバス・地域バス・路線バス
２．自転車	４．家の車

問６．お子さんの家から学校までの通学時間をお答えください。（１つを選択）

１．１分～15分	４．46分～60分
２．16分～30分	５．61分を超える
３．31分～45分	

問７．同居しているお子さんをすべてお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

１．未就学児	２．小学生	３．中学生	４．高校生以上

問８．あなたは、学校が児童生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があると思いますか。（３つまで選択可）

１．基礎的な知識や技能	６．様々な考えをもつ人と協力して行動する力
２．自立心やたくましさ	７．思いやりや優しさなどの心
３．生きる指針や夢	８．ルールや決まりを守ること
４．一人ひとりの個性	９．自分で考え、判断する力
５．創造力（アイデア、発想力）	10．その他（　　）

問９．あなたは、学校での「お子さん１人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育」について、満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

問10．あなたは、学校での「お子さん１人ひとりの活躍や登場の機会」について、満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

問11．あなたは、学校での「お子さんが集団の中で身に付けるコミュニケーション能力の習得」について、満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

問12．あなたは、学校での「お子さんが多様な意見や考え方に触れる機会」について、満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

問 13. あなたは、「お子さんの学校行事や部活動などの集団活動の教育機会」について、満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

問 14. 学校でのお子さんの人間関係で、人数が少ないことによる困り事はありますか。（１つを選択）

１．よくある	２．ときどきある	３．あまり無い	４．無い

問 15. あなたは、子どもの人数が少ない学校の「良い」と思う点はありますか。（２つまで選択可）

１．授業中、困ったときに先生がすぐに気づいてくれて、個別に教えてくれる
２．友だちがいつも同じで、とても仲良くできる
３．日頃から他の学年の子たちと接する機会があり、やさしさや思いやりの気持ちを持てる
４．授業や学校行事などで、１人ひとりが活躍できる場がある
５．授業や学校行事などで、いろいろな役割分担を経験できる
６．ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で勉強ができる
７．特になし
８．その他（　　）

問 16. あなたは、子どもの人数が少ない学校の「良くない」と思う点はありますか。（２つまで選択可）

１．いろいろな意見や考えにふれる機会が少ない
２．クラス替えがないので、たくさんの友だちをつくることができない
３．友だちと仲が悪くならないよう、子どもが自分の気持ちをはっきり言えない
４．行事、部活動、委員会、遊びなどでいろいろな種類の活動ができない
５．清掃活動や学校行事などで、子ども１人ひとりに任される役割が多くて大変
６．１人で通学する時間が長く、登下校が不安
７．特になし
８．その他（　　）

問 17. あなたは、学校でお子さんにどのような特色ある教育を受けさせたいですか。（３つまで選択可）

１．プログラミングなどの ICT 教育	６．体験を重視した教育
２．外国語教育（英語教育）	７．いろいろな意見や考え方を聞いて、グループで課題に取り組む教育
３．運動・スポーツ	８．小中学校が連携した教育※
４．音楽、美術等の芸術	９．地域と連携した教育
５．将来の職業を意識したキャリア教育	10．その他（　　）

※中学校の先生が小学校で授業を実施したり、小学生と中学生が一緒に行事をするなど

問 18. あなたは、お子さんの学校のクラス規模（1 クラスの人数）に満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

【問 18 で「２～４」を回答した方へお尋ねします。】

問 19. あなたは、お子さんの学校のクラス規模（1 クラスの人数）について、どのように感じますか。（１つを選択）

１．もっと多い方が良い	２．もっと少ない方が良い

【すべての方にお尋ねします。】

問 20. あなたは、お子さんの学校のクラス規模※（1 クラスの人数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。（１つを選択）

１．1～9 人	４．30～34 人
２．10～19 人	５．35 人以上
３．20～29 人	

※1 クラスの人数は、小学 1～3 年生が 30 人、小学 4、5 年生、中学 1～3 年生が 35 人を豊田市の標準としています。小学 1～3 年生で 30 人学級を行っていない場合や、小学 6 年生で 35 人を超えるクラスがある場合は、少人数指導が維持できるように、非常勤講師やサポートティーチャーを配置しています。（令和 5 年度時点）

問 21. 問 20 の回答の理由として、当てはまるものをお選びください。（３つまで選択可）

１．児童生徒１人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる
２．児童生徒同士の人間関係が深まりやすい
３．児童生徒の異学年間の交流が生まれやすく、下級生の子たちと接するときに、やさしさや思いやりの気持ちを持てる
４．児童生徒１人ひとりの意見や発表できる機会が多くなる
５．集団内において児童生徒がいろいろな役割分担を経験できる
６．運動場や体育館、特別教室、教材備品など、児童生徒が余裕を持って使える
７．児童生徒の人間関係が固定されず、多くの友人をつくることができる
８．集団の中で児童生徒がコミュニケーション能力を身に付けやすい
９．児童生徒が多様な意見や考え方に触れることが多くなる
10．行事、部活動、委員会、スポーツ、遊びなど多様な種類の活動が体験できる
11．児童生徒が切磋琢磨して学習や運動ができ、能力向上につながる
12．その他（　　）

問 22. あなたは、お子さんの学校規模（1 学年のクラス数）に満足していますか。（１つを選択）

１．満足	２．ほぼ満足	３．やや不満	４．不満

【問 22 で「２～４」を回答した方へお尋ねします。】

問 23. あなたは、お子さんの学校規模（1 学年のクラス数）について、どのように感じますか。（１つを選択）

１．もっと多い方が良い	２．もっと少ない方が良い

【すべての方にお尋ねします。】

問 24. あなたは、お子さんの学校規模※1（１学年のクラス数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。（１つを選択）

１．複式学級※2（2 学年以上を 1 クラスにする）		５．４クラス	
２．１クラス		６．５クラス	
３．２クラス		７．６クラス	
４．３クラス		８．７クラス以上	

※1 学校規模について、小学校は 1 学年当たり 2～3 クラス、中学校は 1 学年当たり 4～6 クラスを国の標準としています。

※2 複式学級の愛知県の基準は、原則、小学校 1・2 学年で 7 人以下、3・4 学年、5・6 学年で 14 人以下、中学校 2 学年で 8 人以下となるときです。

問 25. あなたは、お子さんの学校で小規模校※の対策（例：通学する学校を自由に選択、学校の統合等）は、必要だと思いますか。（１つを選択）

１．必要		３．どちらかというと不要	
２．どちらかというと必要		４．不要	

※ここでは、学校全体のクラス数が、11 クラス以下になる学校を小規模校としています。

【問 25 で「１～２」を回答した方へお尋ねします。】

問 26. 小規模校の対策が「必要」「どちらかというと必要」と思う理由として、当てはまるものをお選びください。（３つまで選択可）

１．児童生徒の競争意識が薄くなりやすい
２．友だち関係がいつも同じで、友人間に序列ができてしまう
３．集団の中で児童生徒がコミュニケーション能力を身に付けにくい
４．児童生徒が多様な意見や考え方に触れる機会が少ない
５．集団学習、集団活動、学校行事、部活動などに制約が生じる
６．登下校が１人になるなど、安全面で心配が生じる
７．PTA 活動において、保護者の負担が多い
８．学校の教職員数が少なく、教職員１人当たりの校務や行事に関わる負担が多そう
９．その他（　　）

【問 25 で「１～２」を回答した方へお尋ねします。】

問 27. 児童生徒数が少ない小規模校対策として、どのような方法が考えられますか。（２つまで選択可）

１．他校との合同授業の実施
２．ICT を活用した遠隔授業の実施
３．市内のどこでも、通学する学校を自由に選べる（スクールバス無し）
４．学校の統合を検討する
５．小中一貫校等、新しい学校形態を検討する
６．交流館等学校以外の施設と複合化し、新しい学校形態を検討する
７．その他（　　）

【問 25 で「1～3」を回答した方へお尋ねします。】

問 28. 豊田市では、今後中長期的に児童生徒数が減少していくことが見込まれます。子どもたちのよりよい教育環境を整備する手法の一つとして、学校の統合の検討が必要な場合、どのような環境が整っていれば、あなたは、お子さんの学校が別の学校と統合してもよいと思いますか。（2つまで選択可）

1．1 クラス当たりの人数を今の基準よりも少なくするなど、子ども 1 人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育を受けることができる
2．安全な通学路や通学手段（スクールバスなど）が確保されている
3．充実した特色ある教育（プログラミング教育、英語教育など）を受けることができる
4．新設や大規模改修により学校施設等の学習環境が充実している
5．放課後を安全・安心に過ごすことができ、多彩な体験活動が展開されている
6．今後さらに児童生徒数が減少したとしても、現在通っている学校のままがいい
7．その他（　　）

【問 25 で「1～3」を回答した方へお尋ねします。】

問 29. あなたは、学校の統合を検討する場合に、重視すべきことは何だと思いますか。（3つまで選択可）

1．クラス数・児童生徒数	6．児童生徒の意向
2．通学距離・時間・方法	7．保護者の意向
3．児童生徒の心身の負担軽減（ケア）	8．地域住民の意向
4．統合する学校同士の事前交流	9．廃校跡地の有効活用策
5．学校と地域コミュニティとのつながり	10．その他（　　）

【問 25 で「1～3」を回答した方へお尋ねします。】

問 30. 学校の統合を検討する中で、地域のみなさんと一緒にワークショップや意見交換会などを実施した場合に、あなたは、参加したいと思いますか。（1つを選択）

1．はい	2．いいえ

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

園保護者用

小中学校の教育環境についてのアンケート調査【回答時間の目安 約 10 分】

アンケート調査へのご協力のお願い

日頃は、豊田市の教育行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
豊田市では、今後中長期的に児童生徒数が減少していくことが見込まれており、小中学校の小規模化が進んでいきます。学校の主役である子どもたちが、どのような教育環境で過ごすべきか検討するため、保護者の皆さまと一緒に考えていく基礎資料として、アンケート調査のご協力をお願いいたします。

令和５年 10 月
豊田市教育委員会　教育長　山本　浩司

1　調査の目的

「学校規模の適正化に関する基本方針（平成 20 年３月策定）」の改定に向けて、子どもたちのより良い教育環境を検討するための調査・研究資料とすることを目的としています。このアンケート調査の結果をもって、直ちに学校の統合が進むものではありません。

2　調査の対象者

旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡、石野、益富、松平中学校区にあるこども園（幼稚園、幼保連携型認定こども園含む）の年長園児の保護者
※学校全体で６学級（特別支援学級を除く）以下の小学校が２校以上ある中学校区を対象としています。（令和５年５月時点）

3　調査の取扱い

■ご回答は無記名です。
■インターネット回答者が特定できないよう、調査の対象者とログイン ID は紐づけることなく、ランダムに設定しています。
■回答していただいた内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

4　回答に当たってのお願い

■小学生、中学生の保護者として回答いただいている場合でも、お手数ですが、年長園児の保護者として回答をお願いします。保護者全員の一致した意見でなくても結構です。
■設問中の「学校」とは、来年度お子さんが通う小学校を指します。

5　調査票の入力期限

■スマートフォン等から回答フォームへアクセスいただき、ログイン ID 及びパスワードを入力の上、**令和５年 10 月 31 日（火）**までに、ご回答ください。
■ログイン ID 及びパスワード、詳しい操作方法は裏面をご覧ください。

<問合せ先>
豊田市教育委員会　教育部　教育政策課
電話：0565-34-6658 / FAX：0565-34-6771 / E メール：kyouiku@city.toyota.aichi.jp
（電話の場合は、月～金（祝日除く）の午前８時 30 分～午後５時 15 分）

園保護者用

― インターネットでの回答手順―

回答の入力期限　令和５年 10 月 31 日（火）まで

① スマートフォン、パソコン等でＵＲＬを入力するか、二次元コードを読み取り、調査画面にアクセスしてください。

【ＵＲＬ】 https://www16.webcas.net/form/pub/toyota-edu-survey/school-05

※スマートフォン、パソコン等の通信料は、利用者様のご負担となります。

② 以下のログインＩＤ・パスワードを入力し、ログインしてください。

【ログインＩＤ】
【パスワード】



※このログインＩＤはインターネット回答のために使用するものであり、回答者個人を特定するものではありません。
※なりすましによる回答を防ぐため、ログインＩＤ・パスワードは他の人に教えないでください。

③ 調査項目ごとに回答フォームが表示されます。質問文を読んで、該当する選択肢や、あなたの考えに当てはまるものを選んで回答してください。
回答内容によって、設問数が変わります。お答えいただいた内容によっては、すべての設問が表示されない場合があります。
また「その他」を選択された場合は、入力欄が表示されますので、可能な範囲で具体的な内容を入力してください。

④ すべての回答の入力が終わりましたら、回答の確認ページが表示されます。その内容でよろしければ「登録」ボタンを押してください。これで回答は終了です。



小中学校の教育環境についてのアンケート調査

冒頭【回答をする前にご覧ください】
・小学生、中学生の保護者として回答いただいている場合でも、お手数ですが、年長園児の保護者として回答をお願いします。保護者全員の一致した意見でなくても結構です。
・設問中の「学校」とは、来年度お子さんが通う予定の小学校を指します。

問１．お子さんとの続柄についてお答えください。（１つを選択）

１．親	２．兄姉	３．祖父母	４．その他（　　）

問２．来年度お子さんが通う予定の小学校についてお答えください。（１つを選択）

１．足助小学校	10．大沼小学校	19．新盛小学校	28．冷田小学校
２．飯野小学校	11．小渡小学校	20．滝脇小学校	29．東広瀬小学校
３．石畳小学校	12．小原中部小学校	21．道慈小学校	30．本城小学校
４．五ケ丘小学校	13．上鷹見小学校	22．巴ケ丘小学校	31．御蔵小学校
５．五ケ丘東小学校	14．九久平小学校	23．豊松小学校	32．御作小学校
６．稲武小学校	15．幸海小学校	24．中金小学校	33．明和小学校
７．岩倉小学校	16．古瀬間小学校	25．則定小学校	34．その他（　）
８．追分小学校	17．佐切小学校	26．萩野小学校	
９．大蔵小学校	18．敷島小学校	27．花山小学校	

問３．あなたは、学校が児童生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があると思いますか。（３つまで選択可）

１．基礎的な知識や技能	６．様々な考えをもつ人と協力して行動する力
２．自立心やたくましさ	７．思いやりや優しさなどの心
３．生きる指針や夢	８．ルールや決まりを守ること
４．一人ひとりの個性	９．自分で考え、判断する力
５．創造力（アイデア、発想力）	10．その他（　　）

問４．あなたは、子どもの人数が少ない学校の「良い」と思う点はありますか。（２つまで選択可）

１．授業中、困ったときに先生がすぐに気づいてくれて、個別に教えてくれる
２．友だちがいつも同じで、とても仲良くできる
３．日頃から他の学年の子たちと接する機会があり、やさしさや思いやりの気持ちを持てる
４．授業や学校行事などで、１人ひとりが活躍できる場がある
５．授業や学校行事などで、いろいろな役割分担を経験できる
６．ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で勉強ができる
７．特になし
８．その他（　　）

問５．あなたは、子どもの人数が少ない学校の「良くない」と思う点はありますか。（２つまで選択可）

１．いろいろな意見や考えにふれる機会が少ない
２．クラス替えがないので、たくさんの友だちをつくることができない
３．友だちと仲が悪くならないよう、子どもが自分の気持ちをはっきり言えない
４．行事、クラブ活動、委員会、遊びなどでいろいろな種類の活動ができない
５．清掃活動や学校行事などで、子ども１人ひとりに任される役割が多くて大変
６．１人で通学する時間が長く、登下校が不安
７．特になし
８．その他（　　）

問６．あなたは、学校でお子さんにどのような特色ある教育を受けさせたいですか。（３つまで選択可）

１．プログラミングなどの ICT 教育	６．体験を重視した教育
２．外国語教育（英語教育）	７．いろいろな意見や考え方を聞いて、グループで課題に取り組む教育
３．運動・スポーツ	８．小中学校が連携した教育※
４．音楽、美術等の芸術	９．地域と連携した教育
５．将来の職業を意識したキャリア教育	10．その他（　　）

※中学校の先生が小学校で授業を実施したり、小学生と中学生が一緒に行事をするなど

問7．あなたは、お子さんの学校のクラス規模※（1 クラスの人数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。（1 つを選択）

1．1~9 人	4．30~34 人
2．10~19 人	5．35 人以上
3．20~29 人	

※1 クラスの人数は、小学 1~3 年生が 30 人、小学 4、5 年生、中学 1~3 年生が 35 人を豊田市の標準としています。小学 1~3 年生で 30 人学級を行っていない場合や、小学 6 年生で 35 人を超えるクラスがある場合は、少人数指導が維持できるように、非常勤講師やサポートティーチャーを配置しています。（令和 5 年度時点）

問8．問7の回答の理由として、当てはまるものをお選びください。（3つまで選択可）

1．児童生徒 1 人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる
2．児童生徒同士の人間関係が深まりやすい
3．児童生徒の異学年間の交流が生まれやすく、下級生の子たちと接するときに、やさしさや思いやりの気持ちを持てる
4．児童生徒 1 人ひとりの意見や発表できる機会が多くなる
5．集団内において児童生徒がいろいろな役割分担を経験できる
6．運動場や体育館、特別教室、教材備品など、児童生徒が余裕を持って使える
7．児童生徒の人間関係が固定されず、多くの友人をつくることができる
8．集団の中で児童生徒がコミュニケーション能力を身に付けやすい
9．児童生徒が多様な意見や考え方に触れることが多くなる
10．行事、クラブ活動、委員会、スポーツ、遊びなど多様な種類の活動が体験できる
11．児童生徒が切磋琢磨して学習や運動ができ、能力向上につながる
12．その他（　　）

問9．あなたは、お子さんの学校規模※1（1 学年のクラス数）について、適当な数はどのくらいだと思いますか。（1 つを選択）

1．複式学級※2（2 学年以上を 1 クラスにする）	4．3 クラス
2．1 クラス	5．4 クラス以上
3．2 クラス	

※1 学校規模について、小学校は 1 学年当たり 2~3 クラスを国の標準としています。
※2 複式学級の愛知県の基準は、原則、小学校 1・2 学年で 7 人以下、3・4 学年、5・6 学年で 14 人以下となるときです。

問 10．あなたは、お子さんの学校で小規模校※の対策（例：通学する学校を自由に選択、学校の統合等）は、必要だと思いますか。（1 つを選択）

1．必要	3．どちらかというと不要
2．どちらかというと必要	4．不要

※ここでは、学校全体のクラス数が、11 クラス以下になる学校を小規模校としています。

【問 10 で「1～2」を回答した方へお尋ねします。】
問 11．小規模校の対策が「必要」「どちらかというと必要」と思う理由として、当てはまるものをお選びください。（3つまで選択可）

1．児童生徒の競争意識が薄くなりやすい
2．友だち関係がいつも同じで、友人間に序列ができてしまう
3．集団の中で児童生徒がコミュニケーション能力を身に付けにくい
4．児童生徒が多様な意見や考え方に触れる機会が少ない
5．集団学習、集団活動、学校行事、クラブ活動などに制約が生じる
6．登下校が 1 人になるなど、安全面で心配が生じる
7．PTA 活動において、保護者の負担が多い
8．学校の教職員数が少なく、教職員 1 人当たりの校務や行事に関わる負担が多そう
9．その他（　　）

【問 10 で「1～2」を回答した方へお尋ねします。】
問 12．児童生徒数が少ない小規模校対策として、どのような方法が考えられますか。（2つまで選択可）

1．他校との合同授業の実施
2．ICT を活用した遠隔授業の実施
3．市内のどこでも、通学する学校を自由に選べる（スクールバス無し）
4．学校の統合を検討する
5．小中一貫校等、新しい学校形態を検討する
6．交流館等学校以外の施設と複合化し、新しい学校形態を検討する
7．その他（　　）

【問 10 で「1～3」を回答した方へお尋ねします。】
問 13．豊田市では、今後中長期的に児童生徒数が減少していくことが見込まれます。子どもたちのよりよい教育環境を整備する手法の一つとして、学校の統合の検討が必要な場合、どのような環境が整っていれば、あなたは、お子さんの入学予定の学校が別の学校と統合してもよいと思いますか。（2つまで選択可）

1．1 クラスあたりの人数を今の基準よりも少なくするなど、子ども 1 人ひとりに目が行き届いたきめ細かな教育を受けることができる
2．安全な通学路や通学手段（スクールバスなど）が確保されている
3．充実した特色ある教育（プログラミング教育、英語教育など）を受けることができる
4．新設や大規模改修により学校施設等の学習環境が充実している
5．放課後を安全・安心に過ごすことができ、多彩な体験活動が展開されている
6．今後さらに児童生徒数が減少したとしても、入学予定の学校のままがいい
7．その他（　　）

【問 10 で「1～3」を回答した方へお尋ねします。】
問 14．あなたは、学校の統合を検討する場合に、重視すべきことは何だと思いますか。（3 つまで選択可）

1．クラス数・児童生徒数	6．児童生徒の意向
2．通学距離・時間・方法	7．保護者の意向
3．児童生徒の心身の負担軽減（ケア）	8．地域住民の意向
4．統合する学校同士の事前交流	9．廃校跡地の有効活用策
5．学校と地域コミュニティとのつながり	10．その他（　　）

【問 10 で「1～3」を回答した方へお尋ねします。】
問 15．学校の統合を検討する中で、地域のみなさんと一緒にワークショップや意見交換会などを実施した場合に、あなたは、参加したいと思いますか。（1 つを選択）

1．はい	2．いいえ

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。